



2015 SUPER FORMULA MEDIA GUIDE

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

J SPORTS

セディナ

NINKI-ICHI
人気酒造

2015 SUPER FORMULA Media Guide

2015 開催日程	3
エントリーリスト	4
賞典	5
観客動員数	6
メディア配信	7
車両規定抜粋	8
スポーティングレギュレーション抜粋	9
チーム&ドライバー紹介	10
サーキットガイド	33
2014 レースリザルト	36
1996-2014 ポイントランキング	38
SUPER FORMULA記録集	49
肖像権について	52

SUPER FORMULA Official Website メディア会員にご登録ください。

<http://superformula.net> ⇒ メディア

メディア会員専用ページでは、メディアの方向けの広報写真、予選速報、プレスリリース等のサービスを行っております。ご登録の上、ご活用ください。

2015 SUPER FORMULA MEDIA GUIDE

発行：株式会社日本レースプロモーション(JRP) 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25



2015 SUPER FORMULA SCHEDULE

2015 SUPER FORMULA 開催日程

ラウンド	日程	サーキット	所在地	予選方式	レース	備考
第1戦	4/18 (土) ~19 (日)	鈴鹿サーキット	三重県	ノックアウト	250km	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦併催 Enjoy Honda併催*
第2戦	5/23 (土) ~24 (日)	岡山国際サーキット	岡山県	ノックアウト	250km	
第3戦	7/18 (土) ~19 (日)	富士スピードウェイ	静岡県	ノックアウト	250km	Enjoy Honda併催*
第4戦	8/22 (土) ~23 (日)	ツインリンクもてぎ	栃木県	ノックアウト	250km	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦併催 Enjoy Honda併催*
第5戦	9/12 (土) ~13 (日)	オートポリス	大分県	ノックアウト	250km	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦併催
第6戦	10/17 (土) ~18 (日)	スポーツランドSUGO	宮城県	ノックアウト	250km	Enjoy Honda併催*
第7戦	11/7 (土) ~8 (日)	鈴鹿サーキット	三重県	ノックアウト	2レース制	

*Enjoy Hondaとは、ホンダ主催の「見て」「遊んで」「体感できる」家族みんなで楽しむイベントです。



2015 SUPER FORMULA ENTRY LIST

2015年エントリーリスト

No.	ドライバー	車名	チーム名(読み)	監督	エンジン
1	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima 1985/1/11生 日本/愛知県	PETRONAS TOM'S SF14	PETRONAS TEAM TOM'S (ペトロナス・チーム・トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
2	アンドレ・ロツテラー Andre Lotterer 1981/11/19生 ドイツ	PETRONAS TOM'S SF14			
3	ジェームス・ロシター James Rossiter 1983/8/25生 イギリス	FUJIXD'station KONDO SF14	KONDO RACING (コンドーレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller 1992/9/17生 イギリス	FUJIXD'station KONDO SF14			
7	平川 亮 Ryo Hirakawa 1994/3/7生 日本/広島県	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チーム ルマン)	土沼 広芳	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi 1986/9/13生 日本/兵庫県	Team KYGNUS SUNOCO SF14			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi 1986/11/20生 日本/栃木県	REAL SF14	REAL RACING (リアルレーシング)	金石 勝智	HONDA HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa 1984/6/1生 日本/東京都	REAL SF14			
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto 1988/7/11生 日本/栃木県	TEAM 無限 SF14	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama 1991/7/25生 日本/東京都	KCMG Elyse SF14	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira 1981/7/13生 ブラジル	LENOVO TEAM IMPUL SF14	LENOVO TEAM IMPUL (レノボ チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	アンドレア・カルダレッツィ Andrea Caldarelli 1990/2/14生 イタリア	LENOVO TEAM IMPUL SF14			
34	小暮 卓史 Takashi Kogure 1980/8/1生 日本/群馬県	DRAGO CORSE SF14	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	道上 龍	HONDA HR-414E
38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura 1981/4/23生 日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING SF14	P.MU / CERUMO・INGING (プロミュー/セルモ・インギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto 1990/9/12生 日本/神奈川県	P.MU/CERUMO・INGING SF14			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri 1989/9/15生 日本/茨城県	DOCOMO DANDELION M40S SF14	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンディライアンレーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan 1977/1/14生 インド	DOCOMO DANDELION M41Y SF14			
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima 1989/1/29生 日本/愛知県	NAKAJIMA RACING SF14	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette 1986/2/23生 ベルギー	NAKAJIMA RACING SF14			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム8台 トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台

シリーズ賞典

スーパーフォーミュラは各レースでの入賞成績に応じてポイントが与えられ、年間の合計でシリーズチャンピオンを決定。ドライバーとチームの2部門に全日本選手権スーパーフォーミュラのタイトルが懸けられ、チャンピオン獲得者には下記賞典が授与されます。



年間チャンピオンドライバー

正賞	副賞	
ドライバーズチャンピオンカップ	賞金 (JRP)	
自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯 (自由民主党)		日本の自動車産業育成およびモータースポーツの普及と育成への貢献を表して授与される。 ※自由民主党モータースポーツ振興議員連盟とは、日本国内の自動車産業ならびに自動車文化の向上、またモータースポーツを通じて社会貢献を行い、その他様々な活動を行うことを目指して設立された連盟。
観光庁長官杯 (観光庁)		自動車競技を通じ、体力の向上ならびに心身の健全育成に寄与し、国内の交流ならびに国際親善、観光振興への貢献を称え授与される。

年間チャンピオンチーム

正賞	副賞	
経済産業大臣杯 (経済産業省)	賞金 (JRP)	日本の産業の基幹である自動車産業を広く内外に示し、フォーミュラカーレースを通して自動車振興に寄与したことを表し授与される。

ルーキー・オブ・ザ・イヤー

正賞	副賞	
トロフィー	賞金 (JRP)	

スポンサー賞典

予選ポールポジションドライバー (第1、3、4、7戦)

正賞	副賞	
東京中日スポーツ / 中日スポーツ賞	賞金 (中日新聞社)	予選で最も素晴らしい活躍を見せてくれたドライバーに対し敬意を表し、授与される。

年間ベストパフォーマンスドライバー

正賞	副賞	
東京中日スポーツ・中日スポーツ賞	賞金 (中日新聞社)	年間を通じて最も活躍したドライバーに対し敬意を表し、授与される。

決勝ベストパフォーマンスドライバー (全戦)

正賞	副賞	
JSPORTS 賞	賞金 (株式会社ジェイ・スポーツ)	決勝レースで最も素晴らしい活躍を見せてくれたドライバーに対し敬意を表し、授与される。

シリーズパートナー / シリーズサポーター / プロモーションパートナー

Series Partner

HONDA

本田技研工業株式会社
<http://www.honda.co.jp/>

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
<http://www.toyota.co.jp/>

Series Supporter

BRIDGESTONE

株式会社ブリヂストン
<http://www.bridgestone.co.jp/>

Promotion Partner

HITACHI

Inspire the Next

日立オートモティブシステムズ
<http://www.hitachi-automotive.co.jp/>

J SPORTS

株式会社ジェイ・スポーツ
<http://www.jsports.co.jp/>

セディナ

株式会社セディナ
<http://www.cedyna.co.jp/>

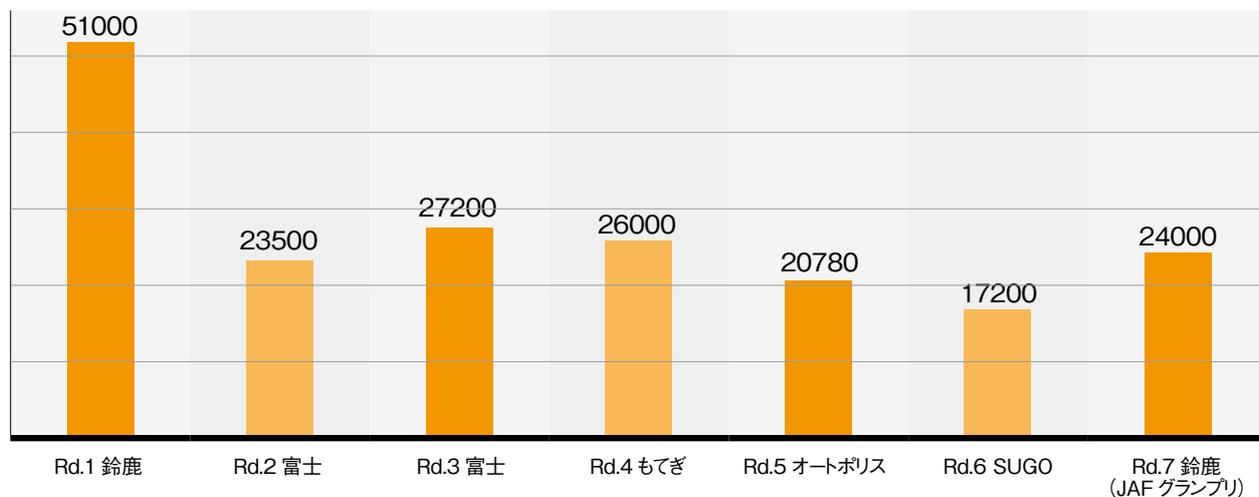
純 NINKI-ICHI

人気酒造

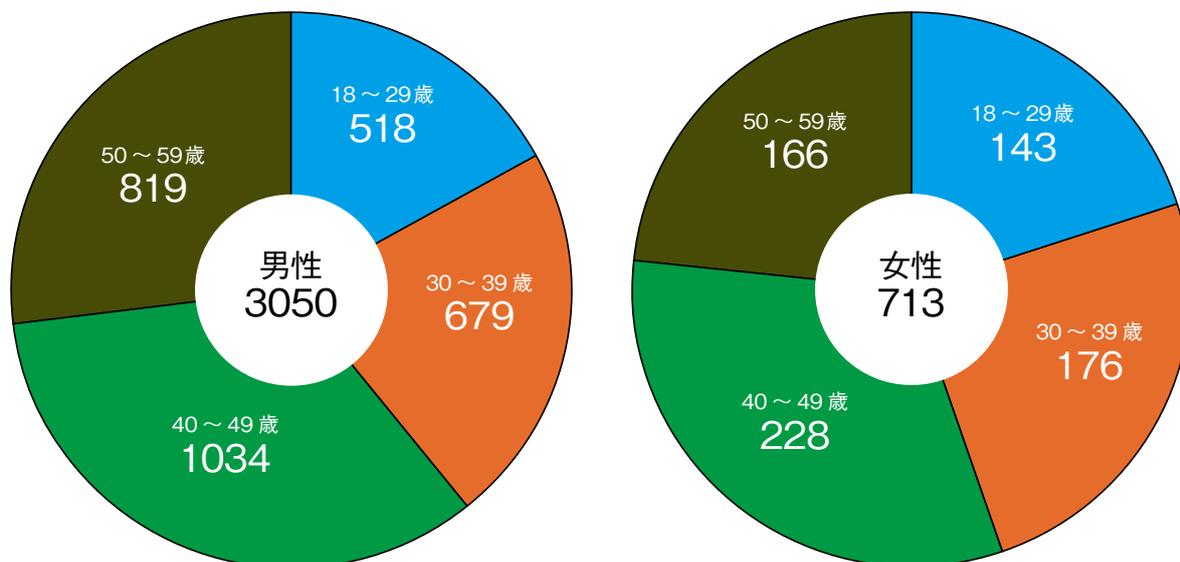
人気酒造株式会社
<http://www.ninki.co.jp/>

年間動員数

2014 年動員実績: 18 万 9680 人



サーキット来場者プロフィール 直近1年で3回以上サーキットで観戦した人の割合



TV放映

	<p>シリーズ全7戦の予選と決勝の模様をライブで中継。再放送やレースダイジェストも放送します。</p>
	<p>シリーズ全7戦のレースハイライトとドライバーに焦点をあてたミニドキュメンタリー番組「スーパーフォーミュラ Go On!」を放送。</p>
<p>フジテレビCS放送 「フジテレビNEXTライブ・プレミアム」</p>	<p>シリーズ全7戦のレースハイライトと、参戦ドライバーをゲストに迎えて、スーパーフォーミュラの魅力やドライバーの本音などを楽しくお届けするスタジオトーク。番組の司会はF1中継を担当するフジテレビアナウンサーに加え、ファッションモデルで語学堪能な横山エリカさんを起用。</p>  <p style="text-align: right;">横山エリカ</p>

映像配信

<p>Yahoo! GYAO!</p>	<p>大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。</p>
<p>YouTube</p>	<p>予選ならびに決勝レースの模様をダイジェスト版にて当日夜配信。</p>

インターネット/SNS

<p>スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト http://superformula.net/</p>	<p>「スーパーフォーミュラ」で <input type="text" value="検索"/></p>
<p>スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook https://www.facebook.com/superformula.official</p>	<p>「スーパーフォーミュラfacebook」で <input type="text" value="検索"/></p>

プロモーションサポーター

 <p>本山 哲 アンバサダー 1998年、2001年、2003年、2005年と、4度のチャンピオンを獲得。また、最多ポールポジション獲得など、さまざまな記録を持つ、日本を代表するトップドライバー。2014年シーズンでは、JRP主催のトークショーに出演した他、場内実況解説やテレビ解説も担当。2015年は「アンバサダー」としてスーパーフォーミュラのプロモーションの中心で活躍する。</p>	 <p>小倉 茂徳 オフィシャルコメンテーター 1987年からの2年間、ホンダF1チームの広報を担当し、現在はモータースポーツジャーナリストとしてモータースポーツ関連記事の執筆、フジテレビF1中継の解説やラジオ等で活躍。 スーパーフォーミュラをこよなく愛し、子どもたちへスーパーフォーミュラの面白さを伝えるため、全国各地のサーキットを転戦し、現場ではドライバー、エンジニアへの取材やトークショー、解体ショーなどに出演。また、スマイルキッズイベントでは、小学校訪問の授業進行や解説等、サーキット以外でのプロモーション活動にも積極的に参加している。</p>
 <p>ピエール 北川 オフィシャルコメンテーター レースの状況や場内の興奮、バトルの迫力を臨場感あふれる熱い語り口で伝えてくれる名レースアナウンサー。2014年からスーパーフォーミュラの全戦で場内実況アナウンサーを務め、JRP主催のトークショーなどの司会進行も担当。 2015年シーズンも引き続き、全戦の場内実況を担当する。</p>	 <p>春那 美希 ナビゲーター 2014年のスーパーフォーミュラ公式サイトでは、シリーズ全戦の現地の模様を伝える「ミキナビ」やレースを支える人間に迫る企画「中の人たち」の執筆を中心に活動。またスマイルキッズイベントでは、小倉茂徳さんと小学校訪問の授業進行等、多くのプロモーション活動に参加。 「日々スーパーフォーミュラの面白さを伝える」をモットーに掲げ、現在はスーパーフォーミュラ公式facebookページの執筆も担当している。</p>

ファンクラブ

<p>2015年度 SUPER FORMULA OFFICIAL FANCLUB “F” SUPER FORMULA 公式ファンクラブ</p>	<p>ファンクラブに入会いただくと、前売観戦券や年間パスの会員特別価格での購入やオリジナルグッズのプレゼントなどの会員特典があります。</p>
--	---

詳しくは公式サイト<http://www.superformula.jp>をご覧ください。

2015 SUPER FORMULA 車両規定抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な車両規則です。
正確な内容は2015年JAF国内競技車両規則をご覧ください。

シャシー

JAF が認めたスーパーフォーミュラ車両製造者から供給された車両で、現在はイタリアのダラーラ製 SF14 が 2014 年から使用されている。

メーカー	dallara 製 (イタリア)
全長	5,268mm
全幅	1,910mm
全高	960mm
ホイールベース	3,165mm
最低重量	660kg (ドライバー込み)
車体	カーボンコンポジット製
ミッション	6速パドルシフト式
ブレーキ	カーボンディスクローター (ブレンボ製)

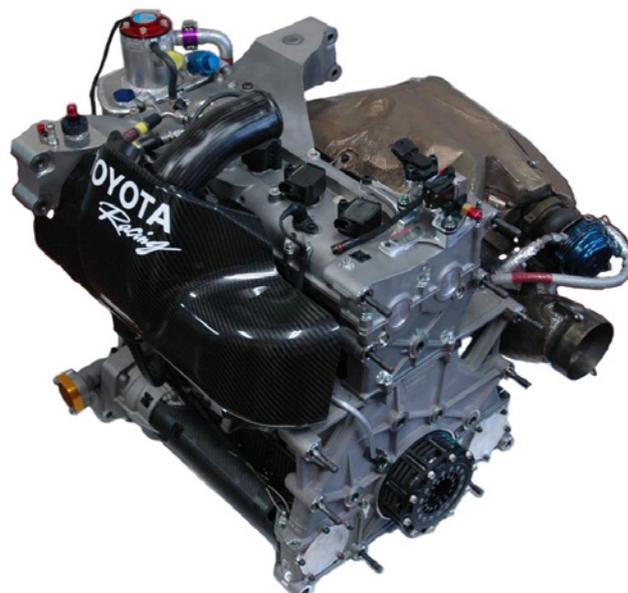


エンジン

エンジンは直噴直列4気筒ターボ、排気量2000cc以下で、現在はHondaとトヨタが開発したNRE (ニッポン・レース・エンジン)が使用される。燃料供給の流量は燃料流量リストラクターによって制限される。



Honda HR-414E



TOYOTA RI4A

タイヤ

ブリヂストン製のワンメイク F : 235/55R13 R : 340/620 × 13 (スリックタイヤ)

オーバーテイクシステム

スーパーフォーミュラでは独自のシステムのひとつとして、決勝中にエンジンのパワーが増すオーバーテイクシステム(OTS)を採用している。これは、オーバーテイクボタンを押すと、20秒間だけ燃料流量が増えてパワーアップする。昨年はこれで5kg/h燃料が増えたが今年は10kg/h増える。システムは1回で20秒間作動し、1レースで使えるのは5回まで。オーバーテイク作動開始から5秒後にドライバーの後ろのロールフープについたランプが点滅する。ポイントリーダーはオーバーテイクランプが赤 (リーダーズレッド) で、それ以外のドライバーは白色となっている。



2015 SUPER FORMULA 競技規則抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な競技規則です。

正確な内容は2015年全日本選手権スーパーフォーミュラ統一規則をご覧ください。

■車両／エンジン／タイヤの使用制限

車両

スペアカーは使用できない。

エンジン

同じエンジンを4大会連続で使用しなければならない。

エンジンを交換した場合

車検開始前	予選結果から10グリッド降格
車検後～決勝日フリー走行終了後1時間まで	予選結果から10グリッド降格
決勝日フリー走行終了後1時間過ぎ～スタート手順開始まで	グリッド最後尾(当該車両の当初のグリッドは空けたまま)
上記3つの場合による2回以上のエンジン交換	決勝レースはピットスタート

1大会2レース制の場合

第1レースのスタート手順開始まで	第1レース予選結果から10グリッド降格
第1レーススタート後～第2レーススタート手順開始まで	第2レース予選結果から10グリッド降格

タイヤ

1大会で1台につき使用できるドライタイヤは6セット（ニュータイヤ3セット、持ち込みタイヤ3セット）、ウエットタイヤは4セット。タイヤウォーマーの使用は禁止される。

■予選方法

予選は全戦ノックアウト方式で行われる。予選をQ1、Q2、Q3の3つのセッションに分け、Q1で上位8台と残りの上位半分の車両がQ2に進める。そしてQ2の上位8台がQ1に進み、上位8台の最終的な順位を決定する。1大会2レース制の場合、第1レースのグリッドはQ1の結果に基づく。予選通過基準はQ1で記録された1位のタイムの107%以内とする。

■スタート

スタートはスタンディングスタートで、グリッドは1×1のスタaggerドフォーメーション。正式スタートの前に1周のフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップに発進できなかった車両は最後尾カピットスタートとなる。ただし、発進が遅れた車両で最後尾の車両がスタートラインを通過する前までに動き出した場合は、フォーメーションラップ走行中に自ポジションまで戻ることができる。各車がグリッドに戻ったのちスタートシグナルのレッドライトが点灯し、その消灯がスタートとなる。



■ポイントシステム

各レースの成績に応じてドライバーとチームに得点が与えられ、年間の合計で最高得点者が全日本選手権保持者（チャンピオン）となる（チームの得点は同一チームの車両のうち上位2台が対象）。同点の場合の順位は高得点を得た回数が多い順に決定。それでも同じ場合は、最終戦の前の大会の得点で決定する。それでも同じ場合は、さらにその前の大会の得点と遡って決める。得点の基準は以下のとおり。

- ・予選 ポールポジション（ドライバーのみ）：1点
- ・決勝 各レースの1位から8位までに下記のとおり。また最終戦に限り、1位の者に通常得点とは別に3点が与えられる（ドライバーのみ）

{1レース制}

1位：10点	5位：4点
2位：8点	6位：3点
3位：6点	7位：2点
4位：5点	8位：1点

{2レース制}

1位：5点	5位：2点
2位：4点	6位：1.5点
3位：3点	7位：1点
4位：2.5点	8位：0.5点

レースが途中で中止になった場合の扱い

先頭車両が2周終了前	得点は与えられない
先頭車両が2周以上～レース距離の75%未満	通常得点の半分
先頭車両がレース距離の75%以上	通常得点





2015 SUPER FORMULA 参加チーム&ドライバー



PETRONAS TEAM TOM'S



日本のレース界を代表するレーシングチーム。トップフォーミュラへの継続的フル参戦開始は比較的最近で、2006年のこと。初年度から初優勝するなど、すぐに上位常連となり、11年には初のダブルタイトルを獲得。そこから昨までの4シーズンでドライバー、チームの両タイトルを計3度ずつゲットしており、間違いなく現代のSUPER FORMULA最強チームといえる存在だ。ドライバーは今季も中嶋一貴&アンドレ・ロッターの超強力タッグ。中嶋は2年連続3度目、ロッターは4年ぶり2度目の戴冠を目指し、高次元で切磋琢磨し続ける。

チーム名	PETRONAS TEAM TOM'S ベトロナス チーム トムス
監督	舘 信秀
会社名	株式会社トムス
所在地	〒412-0017 静岡県御殿場市塚原149-6 テクニカルセンター(第1工場) TEL:0550-89-8347 FAX:0550-89-8349
広報担当	渡邊 一郎 i.watanabe@tomsracing.jp
Website	http://www.tomsracing.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/TOMSRacing.co.jp



チーム監督 舘 信秀
1号車 エンジニア 小枝 正樹
2号車 エンジニア 東條 力

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2006	A.ロッター / 土屋 武士	5位(2回)	優勝(2回)	2位 / 32ポイント	
2007	A.ロッター / 荒 聖治	4位(2回)	優勝	4位 / 48ポイント	
2008	A.ロッター / 荒 聖治	3位	優勝	3位 / 58ポイント	
2009	A.ロッター / 大嶋和也	2位	優勝	2位 / 52ポイント	
2010	A.ロッター / 大嶋和也	PP	優勝(2回)	2位 / 67ポイント	
2011	A.ロッター (Rd.2は井口卓人) / 中嶋一貴	PP(2回)	優勝(6回)	1位 / 96ポイント	☆ ★
2012	A.ロッター / 中嶋一貴	PP(2回)	優勝(4回)	2位 / 76.5ポイント	★
2013	中嶋一貴 / A.ロッター (Rd.1,7はJ.ロスター)	PP(2回)	優勝(4回)	1位 / 58.5ポイント	☆
2014	A.ロッター (Rd.4はA.カルダレリ) / 中嶋一貴	PP(4回)	優勝(4回)	1位 / 79.5ポイント	☆ ★

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

1 中嶋 一貴

Kazuki Nakajima

PETRONAS TOM'S SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1985年1月11日
- 出身地 愛知県
- 身長 175cm
- 体重 64kg
- 血液型 A型
- Website http://www.kazuki-nakajima.com/



Race Career

2001	全日本カート選手権FAクラスシリーズ7位
2002	全日本カート選手権FAクラスシリーズ3位
2003	フォーミュラヨタシリーズチャンピオン(3勝)
2004	全日本F3選手権 シリーズ5位(2勝)
2005	全日本F3選手権 シリーズ2位
	SUPER GT(GT300クラス) シリーズ8位
2006	F3ユーロ選手権 シリーズ7位(1勝)
	GP2シリーズ(フランスDAMS) シリーズ5位
2007	AT&Tウィリアムズテストドライバー / F1世界選手権最終戦ブラジルGP出場
2008	F1世界選手権(AT&Tウィリアムズ) シリーズ15位
2009	F1世界選手権(AT&Tウィリアムズ) シリーズ20位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズチャンピオン
2012	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ7位
	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ4位
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ3位
	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ12位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ5位
	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ8位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	2(42)	1
2012	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2013	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	4(24)	2
2014	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2

2 アンドレ・ロッター

Andre Lotterer

PETRONAS TOM'S SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1981年11月19日
- 出身地 ドイツ
- 身長 184cm
- 体重 76kg
- 血液型 B型



Race Career

2003	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ5位
2004	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ2位
	全日本GT選手権参戦 シリーズ8位
2005	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ4位
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ9位
2006	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ3位
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズチャンピオン
2007	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ5位
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ6位
2008	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ3位
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ3位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ3位
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズチャンピオン
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ2位
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ2位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズチャンピオン
	ル・マン24時間レース 総合優勝
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ4位
2012	ル・マン24時間レース 総合優勝
	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズチャンピオン
	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ2位
2013	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ2位
	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ3位
2014	ル・マン24時間レース 総合優勝
	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ2位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2003	No.2 PIAA NAKAJIMA RACING	4(22)	-
2004	No.31 PIAA NAKAJIMA RACING	2(33)	2
2005	No.31 PIAA NAKAJIMA RACING	4(20)	2
2006	No.36 DHG TOM'S RACING	3(30)	2
2007	No.36 DHG TOM'S RACING	5(37)	1
2008	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S	3(49)	-
2009	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S	3(39)	1
2010	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S	2(43)	1
2011	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S	1(56)	5
2012	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	4(35.5)	2
2013	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	2(37)	2
2014	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S	3(34.5)	2

KONDO RACING



モータースポーツを心から愛する男・近藤真彦が率いるチームで、チーム創設の2000年には、当時このカテゴリーの現役選手だった近藤自身が自チームのステアリングを握って参戦した。昨年は初のフル参戦だったジェームス・ロシターが開幕戦で2位に入るなどの活躍で、最終的にドライバーランキング6位に食い込んだ。そして今季は新人のウィリアム・ブラーが加入し、久々の2カー参戦体制を確立。2台体制でデータ量が増えることはロシターにとっても好材料であり、チームにとって08年以降の優勝を、さらにはチャンピオン獲得をも狙っていききたいところだ。

チーム名	KONDO RACING コンドー レーシング
監督	近藤 真彦
会社名	株式会社エムケイカンパニー
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワーRoP1104 TEL:03-6459-1360 FAX:03-6459-1306
広報担当	河野 初樹 kohn@mk-company.jp
Website	http://www.matchy.co.jp/
Facebook	https://ja-jp.facebook.com/KONDORacing



チーム監督 近藤 真彦
3号車 エンジニア 米林 慎一
4号車 エンジニア 吉田 正孝

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

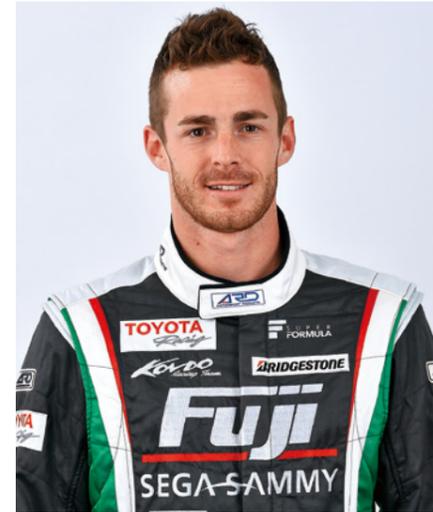
シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2000	近藤真彦 / 土屋武士 (Rd.9)	14位	7位	- / 0ポイント	
2001	立川祐路 / 金石勝智	4位	2位	5位 / 34ポイント	
2002	荒 聖治 / 金石勝智	6位	4位	7位 / 3ポイント	
2003	立川祐路 / D.シュワガー	9位	7位	- / 0ポイント	
2004	道上 龍 / 立川祐路	3位	3位	6位 / 10ポイント	
2005	山本左近 / J.ヤニス (~Rd.3) / R.クインタレッリ (Rd.4~)	3位	2位	4位 / 21ポイント	
2006	山本左近 (Rd.3~) / 荒 聖治 (Rd.4~) / 柳田真孝	5位	4位	10位 / 4.5ポイント	
2007	柳田真孝 / J.P.デ・オリベイラ	3位	3位	7位 / 18ポイント	
2008	横溝直輝 / J.P.デ・オリベイラ	PP	優勝	5位 / 44ポイント	
2010	松田次生 (Rd.4~)	8位	8位	9位 / 1ポイント	
2011	A.カルダレッリ	10位	9位	- / 0ポイント	
2012	安田裕信	8位	9位	- / 0ポイント	
2013	安田裕信	13位	6位	9位 / 3.5ポイント	
2014	J.ロシター	3位	2位	5位 / 22ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

3 ジェームス・ロシター

James Rossiter

FUJIXD's station KONDO SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1983年8月25日
- 出身地 イギリス
- 身長 183cm
- 体重 72kg
- 血液型 B型
- Website http://rossiterracing.com



Race Career	
2003	英国フォーミュラ・ルノーシリーズ3位
2004	英国F3選手権シリーズ3位 BARホンダF1育成ドライバー
2005	ユーロF3選手権シリーズ6位 BARホンダF1育成ドライバー
2006	ワールドシリーズ・フォーミュラルノー シリーズ13位 ホンダレーシングF1チーム開発&テストドライバー
2007	ホンダレーシングF1チーム開発&テストドライバー スーパーアグリF1チームテスト&リザーブドライバー
2008	ホンダレーシングF1チーム開発&テストドライバー アメリカン・ル・マン・シリーズ 1勝 (1PP)
2011	ロータス・開発&テストワークスドライバー ル・マン シリーズ51位 ル・マン 24時間レース 22位
2012	フォースインディアF1チーム 開発&テストドライバー FIA世界耐久選手権シリーズ44位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦 (Rd.1, 7) シリーズ16位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 FIA世界耐久選手権シリーズ39位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 FIA世界耐久選手権シリーズ25位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series			
Year	Team	Rank (Pts)	Win
2013	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	16 (2.5)	-
2014	No.3 KONDO RACING	6 (22)	-

4 ウィリアム・ブラー

William Buller

FUJIXD's station KONDO SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1992年9月17日
- 出身地 イギリス
- 身長 179cm
- 体重 70kg
- 血液型 B型



Race Career	
2008	フォーミュラBMWヨーロッパ シリーズ12位
2009	フォーミュラBMWヨーロッパ シリーズ10位
2010	F3ブラジルオープン1位 英国F3選手権 シリーズ8位 英国F3選手権 シリーズ4位
2011	F3マカオグランプリ 6位 GP3シリーズ15位 ユーロF3選手権 シリーズ5位
2012	ヨーロッパ・フォーミュラ3選手権 シリーズ6位 ヨーロッパ・フォーミュラ3選手権 シリーズ16位
2013	英国F3選手権 シリーズ3位 フォーミュラ・ルノー-3.5 シリーズ11位
2014	フォーミュラ・ルノー-3.5 シリーズ16位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series			
Year	Team	Rank (Pts)	Win

KYGNUS SUNOCO Team LeMans



日本レース界における老舗中の老舗強豪チームである。フォーミュラ・ニッポン誕生当初にも1996年と98年にダブルタイトルを獲得するなど、黄金時代を築いた。2000年代後半からは苦戦が続いていたが、ここ数年はエンジニアリング面のスタッフ強化策等も次々と実行、優勝戦線へのカムバックを果たしている。昨年はSF14導入初戦である開幕戦で勝利。そして今季はF1ドライバー小林可夢偉の加入により、話題という面でもこれまで以上に注目されるチームとなった。僚友は参戦3年目にして21歳という若さの利器・平川亮。どちらが先に初優勝を果たすか。

チーム名	KYGNUS SUNOCO Team LeMans キグナス スノコ チームルマン
監督	土沼 広芳
会社名	株式会社チームルマン
所在地	〒412-0046 静岡県御殿場市保土沢1157-340 TEL:0550-88-5550 / FAX:0550-88-5889
広報担当	狐塚 宣寿 kozuka@lemans.co.jp
Website	http://www.teamlemans.co.jp/



チーム監督 土沼 広芳
7号車 エンジニア 田中 耕太郎
8号車 エンジニア 山田 健二

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	服部尚貴 / R.シューマッハー	PP (3回)	優勝 (5回)	1位 / 78ポイント	☆ ★
1997	N.フォンタナ / E.トゥエロ	2位	優勝	3位 / 23ポイント	
1998	N.フォンタナ / 本山 哲	PP (3回)	優勝 (4回)	1位 / 66ポイント	☆ ★
1999	本山 哲 / 山西康司	PP (3回)	優勝 (3回)	2位 / 52ポイント	
2000	野田英樹 / 五十嵐勇大	PP	2位	5位 / 16ポイント	
2001	A.ユーン / 五十嵐勇大 / 山西康司	6位	5位	9位 / 2ポイント	
2002	影山正美 / 土屋武士 / D.シュワガー	PP (4回)	2位 (3回)	5位 / 29ポイント	
2003	金石年弘 / 土屋武士	PP (2回)	優勝	2位 / 38ポイント	
2004	脇阪寿一 / 土屋武士 / 片岡龍也	PP	2位	4位 / 37ポイント	
2005	片岡龍也 / 土屋武士	2位	2位	5位 / 20ポイント	
2006	片岡龍也 / 高木虎之介	5位	3位 (3回)	6位 / 13ポイント	
2007	片岡龍也 / 高木虎之介	9位	7位 (2回)	8位 / 8ポイント	
2008	本山 哲 / 石浦宏明	PP (2回)	3位	7位 / 22ポイント	
2009	国本京佑 / 石浦宏明	2位	3位	5位 / 31ポイント	
2010	K.コッツォリノ / 石浦宏明	3位	3位	5位 / 24ポイント	
2011	大嶋和也 / 石浦宏明 (大嶋和也はTeam LeMansとして参戦)	PP	2位	4位 / 32ポイント	
2012	大嶋和也 / L.デュバル (大嶋和也はTeam LeMansとして参戦)	2位	3位	5位 / 21.5ポイント	
2013	平川 亮 / L.デュバル (Rd.1,7はA.カルダレッリ)	PP (2回)	優勝	2位 / 42ポイント	
2014	平川 亮 / L.デュバル (Rd.3はA.カルダレッリ)	PP	優勝	2位 / 46ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

7 平川 亮

Ryo Hirakawa

ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A



- 生年月日 1994年3月7日
- 出身地 広島県
- 身長 177cm
- 体重 66kg
- 血液型 O型
- Website http://ryo-hirakawa.com/



Race Career

2008	全日本ジュニアカート選手権 ジュニアクラスシリーズチャンピオン
2009	全日本カート選手権 KF2クラスシリーズ フォーミュラトヨタ・レーシングスクール (FTRS) 受講 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ6位 スーパーFJ 日本一決定戦優勝
2010	JAF地方選手権スーパーFJ岡山シリーズチャンピオン フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位 F4 西日本シリーズチャンピオン
2011	全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位 ホルジェラカップジャパン シリーズチャンピオン
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位 インタープロトシリーズチャンピオン
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦 (Rd.2, 3) シリーズ20位 スーパー耐久 (ST-1クラス) シリーズチャンピオン インタープロトシリーズチャンピオン

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2013	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	11 (9)	-
2014	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	8 (16.5)	-

8 小林 可夢偉

Kamui Kobayashi

Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A



- 生年月日 1986年9月13日
- 出身地 兵庫県
- 身長 170cm
- 体重 63kg
- 血液型 AB型
- Website http://www.kamui-kobayashi.com/



Race Career

2001	フォーミュラトヨタ・レーシングスクール (FTRS) 受講 スカラシップ生に選出
2002	フォーミュラトヨタ参戦
2003	フォーミュラトヨタシリーズ2位
2004	フォーミュラトヨタノイタリア選手権 シリーズ7位 (2勝)
2005	フォーミュラトヨタノイタリア選手権 シリーズチャンピオン (6勝) フォーミュラトヨタヨーロッパ選手権 シリーズチャンピオン (5勝)
2006	F3ユーロシリーズ8位 F3マカオGP-予選レース優勝-ポールポジション獲得
2007	F3ユーロシリーズ4位 (1勝) GP2アジアシリーズ6位 (2勝:日本人初優勝)
2008	GP2シリーズ16位 (1勝:日本人初優勝) F1世界選手権 (バナソニック・トヨタ・レーシング) サードドライバー F1世界選手権 (バナソニック・トヨタ・レーシング) シリーズ18位
2009	GP2アジア シリーズチャンピオン (2勝) GP2 シリーズ16位 (3位 表彰台1回)
2010	F1世界選手権 (BMWザウバーF1チーム) シリーズ12位
2011	F1世界選手権 (ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2012	F1世界選手権 (ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2013	FIA世界耐久選手権 (LMGTE) シリーズ7位
2014	F1世界選手権 (ケータハムF1チーム) シリーズ22位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
------	------	------------	-----

REAL RACING



フォーミュラ・ニッポンでも優勝経験があり、日本のトップカテゴリーで長く活躍した金石勝智が率いる。ホンダの人材育成プロジェクトとの連携性も高い陣営で、チーム母体としてのこのカテゴリー参戦開始は2009年。翌10年には塚越広大が2位を獲得する殊勲を演じている。13年に塚越がチームに戻り、この年から年間を通じての2カーフルエントリーに体制を拡大。そして今季はGP2から帰還の伊沢拓也が加わり、タンディライアンに12年のチームタイトルをもたらしたライバルコンビの再結成となった。チーム初優勝へ、機は熟したといえよう。

チーム名	REAL RACING リアルレーシング
監督	金石 勝智
会社名	株式会社リアル
所在地	東京都港区赤坂3-21-15 東都赤坂ビル3F TEL:03-5114-6045 FAX:03-6459-1281
広報担当	南元 由紀 minamimoto@real-racing.jp
Website	http://www.real-racing.jp/



チーム監督
金石 勝智

10号車
エンジニア
大駅 俊臣

11号車
エンジニア
大神 慎也

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2009	塚越広大	3位(4回)	4位(2回)	7位/20ポイント	
2010	塚越広大	5位	2位	6位/9ポイント	
2011	小林崇志 / 武藤英紀 (Rd.4,7)	9位	9位	—/0ポイント	
2012	金石年弘 / 中山友貴 (Rd.4,5)	11位	7位	9位/2ポイント	
2013	塚越広大 / 中山友貴	7位	6位	8位/4ポイント	
2014	塚越広大 / V.リウッツィ	4位	4位	8位/10ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

10 塚越 広大

Koudai Tsukakoshi

REAL SF14
Honda HR-414E



- 生年月日 1986年11月20日
- 出身地 栃木県
- 身長 172cm
- 体重 65kg
- 血液型 AB型
- Website <http://www.tsukakoshikoudai.net/>



Race Career

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2003	全日本カート選手権FSAクラスシリーズチャンピオン		
2004	フォーミュラ・ドリム(4戦3勝 年間最多勝) シリーズ5位 F4西日本シリーズ チャンピオン 鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F) 首席卒業 フォーミュラ・ドリム(全戦優勝) シリーズチャンピオン		
2005	全日本F3選手権参戦		
2006	全日本F3選手権 シリーズ5位		
2007	全日本F3選手権 シリーズ5位 F3マカオグランプリ2位		
2008	ユーロF3選手権 シリーズ7位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ7位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得		
2009	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ5位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ9位		
2010	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ3位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ4位		
2011	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ4位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ2位		
2012	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ12位 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ15位		
2013	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ2位 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位		
2014	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ12位		

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2009	No.10 HFDP RACING	7(20)	—
2010	No.10 HFDP RACING	9(9)	—
2011	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	4(26.5)	—
2012	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	2(43)	1
2013	No.10 HP REAL RACING	15(3)	—
2014	No.10 HP REAL RACING	11(8.5)	—

11 伊沢 拓也

Takuya Izawa

REAL SF14
Honda HR-414E



- 生年月日 1984年6月1日
- 出身地 東京都
- 身長 168cm
- 体重 62kg
- 血液型 B型
- Website <http://www.takuya-izawa.com/>



Race Career

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2002	鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F) 首席卒業		
2003	フォーミュラノードイツシリーズ7位 フォーミュラドリムシリーズ3位		
2004	フォーミュラノードイツ選手権スポット参戦9位		
2005	フォーミュラドリムシリーズ4位		
2006	全日本F3選手権 シリーズ6位 スーパー耐久十勝24時間レースST-4クラス優勝 全日本F3選手権 シリーズ6位		
2007	F3マカオグランプリ 16位 スーパー耐久十勝24時間レースST-4クラス優勝 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ10位		
2008	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ8位		
2009	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ2位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ11位		
2010	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ9位		
2011	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ9位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ3位		
2012	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ5位 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位		
2013	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ10位 GP2 シリーズ18位		
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦 (Rd.6~) SUPER GT(GT500クラス) スポット参戦 (Rd.8) シリーズ18位		

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2008	No.56 AUTOBACS RACING TEAM AGURI	10(19)	—
2009	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	8(14)	—
2010	No.2 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	11(7)	—
2011	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	9(11)	—
2012	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	3(41.5)	2
2013	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7(15)	1
2014	No.34 DRAGO CORSE	—(0)	—

TEAM 無限



かつてはF1にもエンジンを供給、優勝した実績もある無限。それ以外にも様々なレース活動を展開してきており、サーキットでは圧倒的な存在感を放つ。TEAM 無限としてのトップフォーミュラ参戦は2010年から。翌11年に、今や絶対のエースと呼べる山本尚貴(当時トップフォーミュラ2年目)が加入し、彼とともにチームは成長し続けることになる。そして13年、最終戦鈴鹿のレース1で初優勝した山本は、レース2でもタイトル獲得条件だった3位に入って、見事ドライバーズチャンピオンを獲得。今季目指すはもちろん王座奪還である。

チーム名	TEAM 無限 チーム ムゲン
監督	手塚 長孝
会社名	株式会社M-TEC
所在地	〒351-8586 埼玉県朝霞市藤折町2-15-11 TEL:048-462-3131 FAX:048-462-3121
広報担当	川瀬 卓哉 takuya_kawase@mugen-power.com
Website	http://www.mugen-power.com/
facebook	https://ja-jp.facebook.com/pages/無限MUGEN株式会社 M-TEC/110723739015588



監督
手塚 長孝



エンジニア
阿部 和也

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	井出有治	8位	8位(2回)	10位/1ポイント	
2011	山本尚貴	PP	5位	7位/4ポイント	
2012	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.6,7)	4位	7位	8位/4ポイント	
2013	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.1,6,7)/小林崇志(Rd.2-4)	PP(2回)	優勝	4位/32.5ポイント	★
2014	山本尚貴/中山友貴	PP(2回)	5位	7位/12.5ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

16 山本 尚貴

Naoki Yamamoto

TEAM 無限 SF14
Honda HR-414E



- 生年月日 1988年7月11日
- 出身地 栃木県
- 身長 164cm
- 体重 63kg
- 血液型 B型
- Website <http://www.naoki-yamamoto.com/>



Race Career

2002	全日本カート選手権FAクラス(7戦中5勝) チャンピオン
2003	ARTA(AUTOBACS RACING TEAM AGURI)加入 全日本カート選手権東地域FAクラス第1・3戦に参戦 2戦共優勝
2004	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラスシリーズ29位 CIK-FIA アジアパシフィック選手権ICAクラス 6位
2005	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラスシリーズ5位 CIK-FIA 世界カート選手権FAクラス・ホルトガル大会12位
2006	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパンシリーズ2位
2008	全日本F3選手権 シリーズ5位
2009	全日本F3選手権Nクラスシリーズチャンピオン 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ7位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位
2010	プロ・スポーツ大賞新人賞獲得 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ11位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ9位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ11位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ5位
2012	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン SUPER GT(GT500クラス) シリーズ4位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ4位
2014	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ4位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank(Pts)	Win
2010	No.31 NAKAJIMA RACING	7(20.5)	—
2011	No.16 TEAM 無限	11(5)	—
2012	No.16 TEAM 無限	11(4)	—
2013	No.16 TEAM 無限	1(37)	1
2014	No.1 TEAM 無限	9(14.5)	—

KCMG



KCMGは、トップフォーミュラのみならず多角的にモータースポーツに取り組んできた陣営だ。全日本F3でも馴染みの名前だが、海外との強いパイプも有しており、最近では世界耐久選手権(WEC)のLMP2クラス等でもその名が見られるようになってきている。トップフォーミュラ参戦開始は2010年。1カー参戦ながら、手強い先輩チームたちに果敢に挑む姿勢で戦い続けており、シーズンを終るたびに着実に力を増している印象だ。昨年からトヨタ系の若手気鋭ドライバー、13年全日本F3王者の中山雄一を起用し、ともに表彰台を目指して戦っている。

チーム名	KCMG ケーシーエムジー
監督	土居 隆二
会社名	株式会社ディーティーエム
所在地	〒410-1116 静岡県裾野市千福72-1 TEL:055-992-7000 FAX:055-922-7001
広報担当	石塚 麻依 Ishizuka@kcmg.com.hk
Website	http://www.kcmg.com.hk/
facebook	https://www.facebook.com/KCMGItD



チーム監督
土居 隆二



エンジニア
笠井 昭則

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	平中克幸	8位	7位 (2回)	12位 / 4ポイント	
2011	A.インベトーリ	12位	7位	9位 / 2.5ポイント	
2012	折目 遼	16位	15位	- / 0ポイント	
2013	R.ブラッドレー	18位	13位	- / 0ポイント	
2014	中山雄一	11位	10位	- / 0ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

18 中山 雄一

Yuichi Nakayama

KCMG Elyse SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1991年7月25日
- 出身地 東京都
- 身長 177cm
- 体重 68kg
- 血液型 B型
- Website http://yuichinakayama.jp/



Race Career	
2008	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ13位
2009	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ4位 SUPER FJ筑波シリーズ シリーズチャンピオン
2010	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン フォーミュラ・ニッポン ルーキーテスト参加
2011	全日本F3選手権 Nクラス シリーズ3位
2012	全日本F3選手権 シリーズ2位 フォーミュラ・ニッポン ルーキーテスト参加 SUPER GT (GT300クラス) スポット参戦 (Rd.5) 全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2013	スーパーフォーミュラ ルーキーテスト参加 SUPER GT (GT300クラス) スポット参戦 (Rd.5) インタープロト (Professionalクラス) シリーズ 3位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ SUPER GT (GT300クラス) スポット参戦 (Rd.5) シリーズ17位 スーパー耐久シリーズ・ST1クラスチャンピオン インタープロト (Professionalクラス) シリーズ 2位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series			
Year	Team	Rank (Pts)	Win
2014	No.18 KCMG	-(0)	-

LENOVO TEAM IMPUL



元祖日本一速い男にして「闘将」の異名も持つ星野一義が率いるチームで、それ以上の説明は不要といってもいい名門。2001～10年には、10シーズン中、ドライバーとチームの両タイトルを計7度ずつ獲得するという圧倒的な強さを誇った。4冠王・本山哲が全盛期を過ごしたチームでもある（本山はインパルで3度戴冠）。近年は王座から遠ざかっているが、昨年は10年王者ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラが最多3勝を挙げてシリーズ2位になるなど、完全復活近しの雰囲気。快速アンドレア・カルダレッリの加入でチーム力はさらに高まっている。

チーム名	LENOVO TEAM IMPUL レノボ チーム インパル
監督	星野 一義
会社名	有限会社ホシノレーシング
所在地	〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-32-3 TEL:03-3439-1122(代) FAX:03-3439-5522
広報担当	斉藤 暁一 saito@impul.co.jp 高橋 紳一郎 takahashi@teamimpul.com
Website	http://www.impul.co.jp/
Facebook	https://ja-jp.facebook.com/TEAM.IMPUL



チーム監督 星野 一義
19号車 エンジニア 岡田 淳
20号車 エンジニア 竹林 康仁

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	鈴木利男/星野一義	PP(2回)	優勝	2位/38ポイント	
1997	黒澤琢弥/影山正彦	PP	優勝	2位/44ポイント	
1998	黒澤琢弥/影山正彦	PP	優勝(2回)	4位/27ポイント	
1999	影山正美/野田英樹	2位	優勝	3位/24ポイント	
2000	本山 哲	PP	優勝	3位/34ポイント	
2001	本山 哲/N.カーティケヤン	PP(3回)	優勝(4回)	2位/51ポイント	★
2002	本山 哲/M.クルム	PP	優勝(5回)	2位/60ポイント	
2003	本山 哲/B.トレレイエ	PP(5回)	優勝(6回)	1位/91ポイント	☆ ★
2004	B.トレレイエ/井出有治	PP(2回)	優勝(3回)	1位/62ポイント	☆
2005	B.トレレイエ/井出有治/本山 哲	PP(5回)	優勝(6回)	1位/101ポイント	☆ ★
2006	B.トレレイエ/松田次生	PP(4回)	優勝(5回)	1位/88ポイント	☆ ★
	本山 哲/星野一樹	2位(4回)	3位(4回)	4位/16ポイント	
2007	B.トレレイエ/松田次生	PP(4回)	優勝	1位/91ポイント	☆ ★
	本山 哲/M.クルム	PP	優勝(3回)	3位/50ポイント	
2008	松田次生/B.トレレイエ	PP(5回)	優勝(4回)	1位/114.5ポイント	☆ ★
	平手晃平(Rd.7はR.ライオン)	4位(2回)	優勝	6位/42ポイント	
2009	松田次生/B.トレレイエ	PP	優勝	3位/50ポイント	
	平手晃平	PP	3位	4位/31ポイント	
2010	J.P.デ・オリベイラ/平手晃平	PP(2回)	優勝(3回)	1位/68ポイント	☆ ★
2011	J.P.デ・オリベイラ/平手晃平	PP(2回)	優勝	2位/41ポイント	
2012	J.P.デ・オリベイラ/松田次生	PP(3回)	優勝	3位/51.5ポイント	
2013	J.P.デ・オリベイラ/松田次生	2位(2回)	2位	3位/37.5ポイント	
2014	J.P.デ・オリベイラ/N.カーティケヤン	PP(2回)	優勝(3回)	4位/39.5ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

Joao Paulo Lima de Oliveira

LENOVO TEAM IMPUL SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1981年7月13日
- 出身地 ブラジル
- 身長 173cm
- 体重 66kg
- 血液型 A型



Race Career

2001	ドイツF3選手権 シリーズ7位
2002	ドイツF3選手権 シリーズスポット参戦
2003	ドイツF3選手権 シリーズチャンピオン
2004	全日本F3選手権 シリーズ2位
2005	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2006	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ15位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ8位
2007	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ10位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ6位
2008	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ14位
	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ8位
2009	WTCCインディペンデントクラス スポット参戦
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズチャンピオン
2010	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ10位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ3位
2011	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ5位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ5位
2012	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ4位
	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位
2013	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ9位
	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ2位
2014	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ6位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2007	No.4 CARCHS KONDO RACING	8(18)	—
2008	No.4 KONDO RACING	6(33)	1
2010	No.19 Mobil 1 TEAM IMPUL	1(47.5)	2
2011	No.1 TEAM IMPUL	3(28)	1
2012	No.19 TEAM IMPUL	5(34.5)	1
2013	No.19 Lenovo TEAM IMPUL	5(19)	—
2014	No.19 Lenovo TEAM IMPUL	2(39.5)	3

20 アンドレア・カルダレッリ

Andrea Caldarelli

LENOVO TEAM IMPUL SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1990年2月14日
- 出身地 イタリア
- 身長 175cm
- 体重 70kg
- 血液型 O型
- Website http://www.andreacaldarelli.it/



Race Career

2005	フォーミュラ・アズーラ イタリア選手権シリーズ4位
2006	フォーミュラ・ルノー イタリア選手権 シリーズ14位
2007	フォーミュラ・ルノー ユーロ選手権 シリーズ24位
	フォーミュラ・ルノー ユーロ選手権 シリーズ3位
2008	F1世界選手権(ハナソニック・トヨタ・レーシング)テストドライバー
	ユーロF3選手権シリーズ14位
2009	F1世界選手権(ハナソニック・トヨタ・レーシング)テストドライバー
	イタリアF3選手権 シリーズ3位
2010	F1世界選手権(フェラーリ)テストドライバー
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ参戦
2011	GP3シリーズ10位
2012	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ13位
	全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦(Rd.1、7) シリーズ13位
2013	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ8位
	全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦(Rd.3、4)シリーズ12位
2014	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ2位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.3 KONDO RACING	—(0)	—
2013	No.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	13(4)	—
2014	No.36 PETRONAS TEAM TOM'S*	12(7)	—

*Rd.4のみ、Rd.3はNo.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMansで出場。

DRAGO CORSE



フォーミュラ・ニッポンやJGTC~SUPER GTで活躍、長く「ホンダのエース」と呼ばれてきた名手・道上龍が監督として率いる新興チーム。昨年の終盤2戦、当時GP2を主戦場としていた伊沢拓也を起用して参戦を開始した。そして初のフル参戦となる今年、ドラゴ コルセで走るのは韋駄天・小暮卓史である。2003~05年、そして07~14年とナカジマレーシングで戦い、タイトル獲得こそないものの、日本のトップフォーミュラの代表的存在ともなる輝きを放った小暮。かつてのGTパートナーである道上監督のもとで、どんな走りを見せるだろうか。

チーム名	DRAGO CORSE ドラゴ コルセ
監督	道上 龍
会社名	有限会社ドラゴ
所在地	(事務局)港区南青山2-7-5スタジオJ1F TEL:03-6406-2577 FAX:03-6406-2578
広報担当	西野 啓子 i-keiko@alnex.jp
Website	http://www.michigami-ryo.com/
facebook	https://www.facebook.com/DRAGO.CORSE



チーム監督
道上 龍



エンジニア
星 学文

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2014	伊沢拓也 (Rd.6~)	16位	14位 (2回)	—/0ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

34 小暮 卓史

Takashi Kogure

DRAGO CORSE SF14
Honda HR-414E



- 生年月日 1980年8月1日
- 出身地 群馬県
- 身長 176cm
- 体重 66kg
- 血液型 B型
- Website <http://www.takashi-kogure.com/>



Race Career

2002	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2003	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ10位
2004	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ7位
2005	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位
2006	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2007	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2008	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ参戦 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2003	No.1 PIAA NAKAJIMA RACING	10 (11)	—
2004	No.32 PIAA NAKAJIMA RACING	7 (17)	1
2005	No.32 PIAA NAKAJIMA RACING	5 (15)	—
2006	No.56 AUTOBACS RACING TEAM AGURI	12 (3)	—
2007	No.32 PIAA NAKAJIMA RACING	3 (41)	3
2008	No.32 PIAA NAKAJIMA RACING	5 (41)	—
2009	No.32 NAKAJIMA RACING	4 (37)	2
2010	No.32 NAKAJIMA RACING	4 (38)	1
2011	No.32 NAKAJIMA RACING	7 (16.5)	—
2012	No.32 NAKAJIMA RACING	10 (4)	—
2013	No.32 NAKAJIMA RACING	8 (15)	—
2014	No.32 NAKAJIMA RACING	— (0)	—

P.MU/CERUMO・INGING



フォーミュラ・ニッポン以前の時代から全日本トップフォーミュラで戦ってきた古豪セルモと、2006年参戦開始で翌07年には初優勝を飾るなどの活躍を演じていたインギング、両者がタッグを組んでの参戦に移行したのは08年である。現在のチーム監督はセルモのエースとして名高い立川祐路。SUPER GTでは今も現役だが、SUPER FORMULAでは監督として陣頭指揮にあたっている。今季ドライバーは石浦宏明と國本雄資で昨年と変わらず。両者ともシリーズ戦初優勝までと一歩の位置にだけに、悲願達成に向け今季が勝負の年となってくる。

チーム名	P.MU/CERUMO・INGING プロミュー/セルモ・インギング
監督	立川 祐路
会社名	株式会社インギング
所在地	〒745-0868 山口県周南市南浦山町2-2 TEL:0834-22-5248 FAX:0834-22-5212
広報担当	高尾 昭 takao@inging.jp 村田 淳一 murata@cerumo.co.jp
Website	http://www.inging.co.jp/
facebook	http://www.facebook.com/ingingmotorsport



チーム監督 立川 祐路
38号車 エンジニア 村田 卓児
39号車 エンジニア 菅沼 芳成

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	羽根幸浩	14位	12位	—/0ポイント	
1997	光貞秀俊/S.カヴァナ/柴原真介/M.クルム	3位(2回)	3位(3回)	5位/20ポイント	
1998	野田英樹/飯田 章	PP	3位	7位/11ポイント	
1999	立川祐路/飯田 章	4位	4位	10位/6ポイント	
2000	立川祐路/J.ヴィエルチューク	3位(3回)	4位(3回)	7位/9ポイント	
2001	影山正美/荒 聖治	7位(2回)	3位	7位/16ポイント	
2002	B.トレレイエ/立川祐路	8位(2回)	6位	9位/1ポイント	
2003	松田次生/井出有治	3位	2位	5位/26ポイント	
2004	松田次生/影山正美	5位	4位(2回)	7位/7ポイント	
2005	平中克幸/高木虎之介	2位	6位(2回)	7位/2ポイント	
2006	立川祐路(CERUMO)	5位	4位(2回)	8位/10ポイント	
	R.クインタレッリ/横溝直輝(INGING)	2位	4位	9位/6ポイント	
	立川祐路(CERUMO)	4位	5位	9位/7ポイント	
2007	立川祐路/佐々木孝太(RECKLESS CERUMO)	7位	6位	11位/4ポイント	
	R.クインタレッリ/横溝直輝(INGING)	2位	優勝	5位/27ポイント	
2008	R.クインタレッリ/立川祐路	5位	3位	4位/52.5ポイント	
2009	立川祐路	8位	5位	10位/1ポイント	
2010	井口卓人	13位	6位	8位/3ポイント	
2011	國本雄資	8位	4位	6位/6.5ポイント	
2012	平手晃平/國本雄資	4位	5位	6位/10ポイント	
2013	平手晃平/國本雄資	2位	2位	5位/21ポイント	
2014	石浦宏明/國本雄資	2位	2位(2回)	3位/45.5ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

38 石浦 宏明

Hiroaki Ishiura

P.MU/CERUMO・INGING SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1981年4月23日
- 出身地 東京都
- 身長 178cm
- 体重 72kg
- 血液型 AB型
- Website http://ameblo.jp/ishiura/



Race Career

2003	フォーミュラヨタ シリーズ4位
2004	フォーミュラヨタ シリーズ6位
2005	フォーミュラヨタ シリーズ3位
	GC-21シリーズチャンピオン
2006	全日本F3選手権 シリーズ9位
	全日本F3選手権 シリーズ4位
2007	SUPER GT(GT300クラス)シリーズチャンピオン
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ16位
2008	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ15位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位
2009	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ9位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位
2010	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ6位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位
2011	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ7位
	ニュルブルクリンク24時間レース クラス3位
2012	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ3位
	ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2013	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ7位
	ニュルブルクリンク24時間レース クラス2位
	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位
2014	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ13位
	ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank(Pts)	Win
2008	No.8 Team LeMans	16(9)	—
2009	No.8 Team LeMans	6(30)	—
2010	No.8 Team LeMans	8(16)	—
2011	No.8 Team KYGNUS SUNOCO	6(17)	—
2014	No.38 P.MU/CERUMO・INGING	5(26)	—

39 國本 雄資

Yuji Kunimoto

P.MU/CERUMO・INGING SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1990年9月12日
- 出身地 神奈川県
- 身長 167cm
- 体重 60kg
- 血液型 B型
- Website http://yujikunimoto.com



Race Career

2004	全日本カート選手権 ICAクラスシリーズ7位
2005	全日本カート選手権 ICAクラス東地域チャンピオン
	全日本カート選手権 ICAクラスシリーズ3位
2006	全日本カート選手権 FAクラスシリーズ8位
	フォーミュラチャレンジ・ジャパンシリーズ4位
2007	フォーミュラヨタ スポット参戦
	フォーミュラチャレンジ・ジャパンシリーズチャンピオン
2008	マカオグランプリフォーミュラBMWクラス5位
	全日本F3選手権Cクラスシリーズ3位
2009	SUPER GT(GT300クラス) シリーズ8位
	全日本F3選手権Cクラスシリーズチャンピオン
2010	SUPER GT(GT300クラス) シリーズ4位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ10位
2011	SUPER GT(GT300クラス) シリーズ7位
	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ13位
2012	SUPER GT(GT500クラス) シリーズ13位
	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位
2013	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ5位
	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位
2014	SUPER GT(GT500クラス)シリーズ7位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank(Pts)	Win
2011	No.33 Project μ/cerumo・INGING	10(6.5)	—
2012	No.39 Project μ/cerumo・INGING	13(2)	—
2013	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	10(10)	—
2014	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	7(19.5)	—

DOCOMO TEAM DANDELION RACING



長い歴史を誇るチームが珍しくないSUPER FORMULAにおいて、1999年参戦開始のダンディライアンは比較的新しいチームといえるが、04年にはドライバースタイトル（リチャード・ライアン）、12年にはチームタイトル（塚越広大&伊沢拓也）を獲得するなど、すでに名門とも呼べるレベルの実績と存在感を有している。近年はホンダ系の若い日本人選手がこのチームで初優勝を経験することも多く、昨年も野尻智紀がルーキーながらホンダ勢唯一の勝利を挙げたなど奮戦した。今季は移籍してきた元F1戦士ナレイン・カーティケヤンと野尻のコンビで臨む。

チーム名	DOCOMO TEAM DANDELION RACING ドコモ チーム ダンディライアン レーシング
監督	村岡 潔
会社名	有限会社ダンディライアン
所在地	〒662-0076 兵庫県西宮市松生町18-24-101 TEL:0798-70-0048 FAX:0798-70-0049
広報担当	浜田 哲彌
Website	http://www.dandelion-racing.com/



チーム監督
村岡 潔



40号車
エンジニア
杉崎 公俊



41号車
エンジニア
吉田 則光

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1999	R.デルフラー	17位(2回)	9位	-/0ポイント	
2000	道上 龍	2位	7位	-/0ポイント	
2001	野田英樹/J.ヴィエルチューク/光貞秀俊	3位	11位	-/0ポイント	
2002	J.コシェ/R.ライアン	6位	2位	6位/6ポイント	
2003	R.ライアン/服部尚貴	3位(2回)	優勝	6位/23ポイント	
2004	R.ライアン/服部尚貴	PP(6回)	優勝(2回)	3位/40ポイント	★
2005	R.ライアン/服部尚貴	PP(2回)	優勝	2位/37ポイント	
2006	B.ビルドハイム/平中克幸/井出有治	4位	2位	5位/13.5ポイント	
2007	B.ビルドハイム/F.カルボーン	6位	2位	6位/20ポイント	
2008	松浦孝亮/土屋武士	3位	優勝	11位/7.5ポイント	
2009	R.ライアン/伊沢拓也	2位(2回)	2位	6位/25ポイント	
2010	L.デュバル/伊沢拓也	PP(2回)	優勝(2回)	4位/40.5ポイント	
2011	伊沢拓也/塚越広大	PP	3位(2回)	3位/36.5ポイント	
2012	伊沢拓也/塚越広大	PP(3回)	優勝(3回)	1位/78.5ポイント	☆
2013	伊沢拓也/武藤英紀	PP	優勝	7位/14ポイント	
2014	野尻智紀/武藤英紀	2位(2回)	優勝	6位/14ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

40 野尻 智紀

Tomoki Nojiri

DOCOMO DANDELION M40S SF14
Honda HR-414E



- 生年月日 1989年9月15日
- 出身地 茨城県
- 身長 165cm
- 体重 55kg
- 血液型 B型
- Website <http://tomoki-nojiri.com/>



Race Career

2008	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)首席卒業
2009	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位 F4西日本シリーズ5位
2010	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位
2011	全日本F3選手権 Nクラス シリーズ2位
2012	全日本F3選手権 シリーズ5位
2013	全日本F3選手権 シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT(GT300クラス)シリーズ10位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2014	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	10(10)	1

41 ナレイン・カーティケヤン

Narain Karthikeyan

DOCOMO DANDELION M41Y SF14
Honda HR-414E



- 生年月日 1977年1月14日
- 出身地 インド
- 身長 168cm
- 体重 65kg
- 血液型 A型
- Website <https://twitter.com/narainracing/>



Race Career

1998	イギリスF3選手権シリーズ12位
1999	イギリスF3選手権シリーズ6位
2000	イギリスF3選手権シリーズ4位
2001	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ14位
2002	ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ9位
2003	ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ4位
2004	ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ6位
2005	F1世界選手権(Jordan Grand Prix)シリーズ18位
2006	A1GP(チーム インド)シリーズ19位
2007	A1GP(チーム インド)シリーズ10位
2008	A1GP(チーム インド)シリーズ12位
2010	スーパーリーグ フォーミュラ(PSV Eindhoven)シリーズ16位
2011	F1世界選手権(HRT F1 Team)シリーズ26位
2012	F1世界選手権(HRT F1 Team)シリーズ24位
2013	AUTO GP シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ13位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2001	No.20 excite TEAM IMPUL	14(2)	-
2014	No.20 Lenovo TEAM IMPUL	13(5)	-

NAKAJIMA RACING



日本人初のフルタイムF1参戦選手だった中嶋悟監督のチームで、フォーミュラ・ニッポン時代には4度のダブルタイトル獲得歴を誇る。高木虎之介、小暮卓史といったスターを世に出したことも知られるチーム。近年は2010年開幕戦を最後に優勝がないが、今季はカーナンバーを往年の64&65に戻して心機一転、エンジニアリングスタッフも一層強化するなど巻き返しに転じる準備は整った。在籍5年目の中嶋大祐（悟監督の二男）と、SUPER FORMULAでは新人ながらSUPER GTでは在籍2年目のベルトラン・バゲット、彼らが名門復活の使命を担う。

チーム名	NAKAJIMA RACING ナカジマレーシング
監督	中嶋 悟
会社名	有限会社中嶋企画
所在地	東京都渋谷区渋谷3-5-1 渋谷グランドハイツ1104号 TEL:03-3486-4258 FAX:03-3486-4259
広報担当	山田 美紀 yamada@nakajim racing.co.jp
Website	http://www.nakajim racing.co.jp/
facebook	http://ja-jp.facebook.com/nakajim racing



チーム監督 中嶋 悟
64号車 エンジニア 平野 亮
65号車 エンジニア 田坂 泰啓

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	高木虎之介 / 黒澤琢弥	PP (4回)	優勝 (2回)	3位 / 35ポイント	
1997	高木虎之介 / 山西康司	PP (3回)	優勝	4位 / 20ポイント	
1998	山西康司 / T.コロネル	2位	4位	8位 / 10ポイント	
1999	T.コロネル / 光貞秀俊	PP (5回)	優勝 (5回)	1位 / 81ポイント	☆ ★
2000	高木虎之介 / 松田次生	PP (6回)	優勝 (9回)	1位 / 113ポイント	☆ ★
2001	松田次生 / R.ファーマン	PP (2回)	優勝 (2回)	4位 / 37ポイント	
2002	R.ファーマン / 松田次生	PP (2回)	優勝 (4回)	1位 / 81ポイント	☆ ★
2003	小暮卓史 / A.ロッテラー	PP	2位 (3回)	3位 / 33ポイント	
2004	A.ロッテラー / 小暮卓史	2位	優勝 (3回)	2位 / 50ポイント	
2005	A.ロッテラー / 小暮卓史	PP	優勝 (2回)	3位 / 35ポイント	
2006	L.デュバル / 武藤英紀	4位	優勝 (2回)	3位 / 26ポイント	
2007	L.デュバル / 小暮卓史	PP (4回)	優勝 (3回)	2位 / 72ポイント	
2008	L.デュバル / 小暮卓史	2位 (2回)	優勝 (2回)	2位 / 103ポイント	
2009	L.デュバル / 小暮卓史	PP (5回)	優勝 (6回)	1位 / 93ポイント	☆ ★
2010	山本尚貴 / 小暮卓史	PP (2回)	優勝 (1回)	3位 / 56.5ポイント	
2011	中嶋大祐 / 小暮卓史	2位	2位	5位 / 18.5ポイント	
2012	中嶋大祐 / 小暮卓史	5位	4位	7位 / 4ポイント	
2013	中嶋大祐 / 小暮卓史	2位 (2回)	2位 (2回)	5位 / 21ポイント	
2014	中嶋大祐 / 小暮卓史	10位	5位	9位 / 4ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

64 中嶋 大祐

Daisuke Nakajima

NAKAJIMA RACING SF14
Honda HR-414E



- 生年月日 1989年1月29日
- 出身地 愛知県
- 身長 166cm
- 体重 58kg
- 血液型 A型
- Website http://www.daisuke-nakajima.com/



Race Career

2006	鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)入校 成績優秀者としてスカラシップを獲得
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパンシリーズ5位
2008	全日本F3選手権 シリーズ9位
2009	英国F3選手権 シリーズ7位
2010	英国F3選手権 シリーズ11位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ13位 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン
2012	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ15位 (Rd.4~)
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ15位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ17位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.31 NAKAJIMA RACING	13 (2)	—
2012	No.31 NAKAJIMA RACING	— (0)	—
2013	No.31 NAKAJIMA RACING	12 (6)	—
2014	No.31 NAKAJIMA RACING	15 (4)	—

65 ベルトラン・バゲット

Bertrand Baguette

NAKAJIMA RACING SF14
Honda HR-414E



- 生年月日 1986年2月23日
- 出身地 ベルギー
- 身長 174cm
- 体重 70kg
- 血液型 A型
- Website http://www.bertrand-baguette.com/



Race Career

2003	RACB Formula Renault Academy スカラシップ獲得
2006	フォーミュラ・ルノー-2.0 シリーズ4位
2007	フォーミュラ・ルノー-3.5 シリーズ17位
2008	フォーミュラ・ルノー-3.5 シリーズ7位 フォーミュラ・ルノー-3.5 シリーズチャンピオン
2009	F1世界選手権ルノー・キースト参加 (ルノー、BMWザウバー)
2010	IRLインディカー・シリーズ22位 IRLインディカー・シリーズ39位
2011	FIA GT1世界選手権シリーズ17位
2012	FIA世界耐久選手権 (LMP1) クラス4位 ヨーロッパ・マン・シリーズ参戦
2013	FIA世界耐久選手権 (LMP2) クラスチャンピオン
2014	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ17位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
------	------	------------	-----

鈴鹿サーキット

SUZUKA CIRCUIT

第1戦 4月18日(土)・19日(日) / 第7戦 11月7日(土)・8日(日)

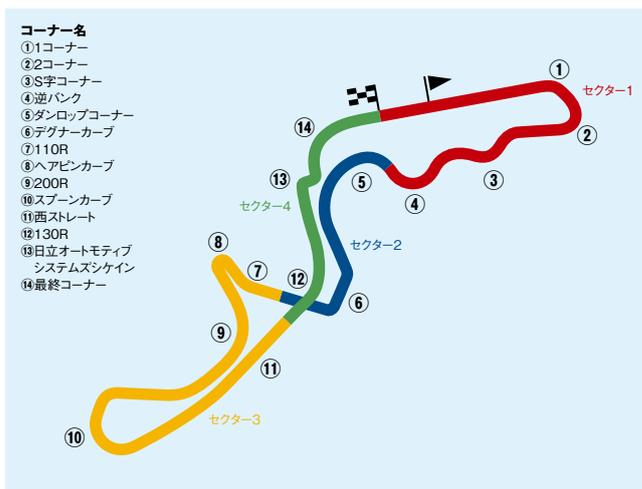
1962年、日本初の本格的サーキットとして誕生。世界的にも珍しい立体交差のある8の字型のレイアウトで低速から高速コーナーまでバランスよく配置されている。1987年にF1日本グランプリを開催してから海外でも広く知られるようになり、リズムカルでチャレンジングなレイアウトは世界でもベストコースのひとつと評価する関係者も多い。



アクセス

- 〔クルマ〕** 東名阪自動車道・鈴鹿ICより。東名阪自動車道・亀山ICより。
- 〔電車〕** 近鉄・白子駅よりバス20分、タクシー15分。近鉄・平田町駅よりタクシー15分。伊勢鉄道・鈴鹿サーキット稲生駅より徒歩30分。

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-9181 <http://www.suzukacircuit.jp>



コースデータ

全長	5.807km
コース幅	10~16m
ストレート長	800m(メインストレート) 1000m(西ストレート)
コーナー数	18

コースレコード

SF	1'36.996	2014年4月12日(土)
アンドレ・ロッター／ベトロナストムSF14・トヨタRI4A 2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第1戦 鈴鹿サーキット SUZUKA 2&4 RACE		
F1	1'28.954	2006年10月7日(土)
ミハエル・シューマッハー／フェラーリ248 F1 2006年 フジテレビジョン 日本グランプリ 鈴鹿		
F3	1'51.877	2014年4月12日(土)
高星明誠／ダラーラF312 2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第1戦 鈴鹿サーキット SUZUKA 2&4 RACE		

岡山国際サーキット

OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT

第2戦 5月23日(土)・24日(日)

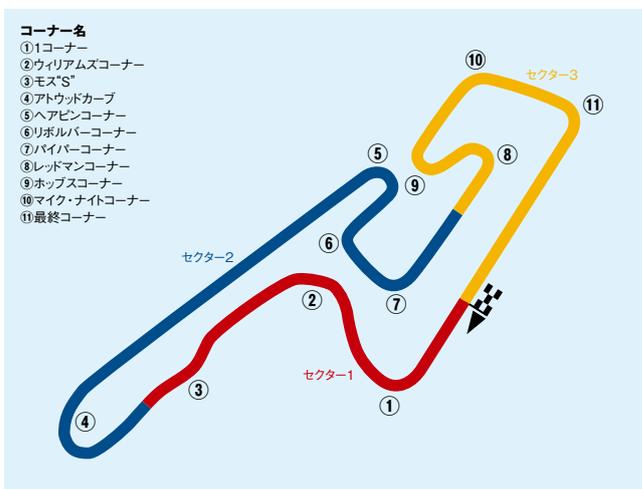
現在、中国地方で唯一のピクレス開催サーキット。1994、95年にはF1を開催したこともある。コース長は3.7kmで、中低速コーナーの多いこぢんまりとしたテクニカルなレイアウトで観客席との距離が近い。各コーナーは往年のドライバーの名がつけられているのも特徴。スーパーフォーミュラは2008年以来7年ぶりと、久しぶりの開催となる



アクセス

- 〔クルマ〕** 山陽自動車道・備前IC / 和気ICより30分。中国自動車道・美作ICより30分、作東ICより20分
- 〔電車〕** 山陽新幹線・JR岡山駅よりバス+タクシーで80分。山陽本線JR吉永駅より車で20分。
- 〔飛行機〕** 岡山空港より車で60分。

株式会社岡山国際サーキット
〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210
TEL:0868-74-3311 FAX:0868-74-2600 <http://www.okayama-international-circuit.jp>



コースデータ

全長	3.703km
コース幅	12~15m
ストレート長	600m(メインストレート) 700m(バックストレート)
高低差	29m
コーナー数	13

コースレコード

SF	1'15.808	2008年6月7日(土)
松田次生 / FN06・トヨタRV8J 2008年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第4戦		
F1	1'10.218	1994年4月15日(金)
アイルトン・セナ / ウィリアムズFW16・ルノー 1994年 F1世界選手権第2戦 パシフィックGP		
F3	1'24.243	2008年6月7日(土)
カルロ・バン・ダム / ダラーラF308 2008年 全日本フォーミュラ3選手権第10戦		

富士スピードウェイ

FUJI SPEEDWAY

第3戦 7月18日(土)・19日(日)

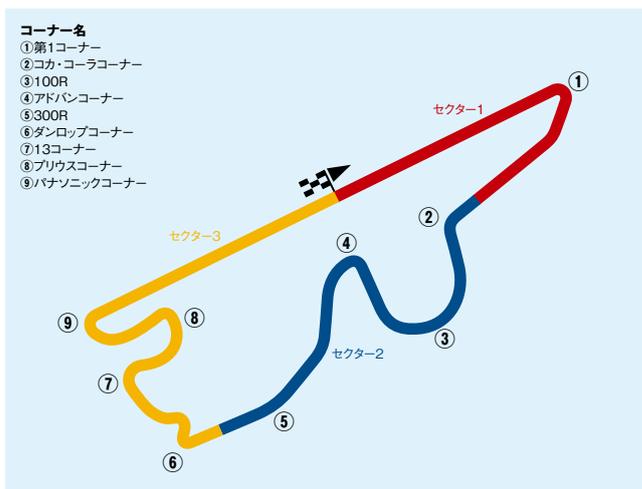
西の鈴鹿、東の富士と日本を代表する2大サーキットのひとつ。歴史も長く、日本のモータースポーツを育て、支えてきただけでなく、F1や世界耐久選手権などビッグイベントも開催してきた。約1.5kmにおよぶ世界屈指の長いストレートを持ち、高速コースとして知られたが、2007年に改修されコース後半はテクニカルなレイアウトとなった。



アクセス

- 〔クルマ〕** 東名高速道路・御殿場ICより15分。
中央高速道路・河口湖IC～富士五湖道路・須走ICより10分。
- 〔電車〕** JR御殿場線・小田急・御殿場駅よりバス25分。

富士スピードウェイ株式会社
〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694
TEL:0550-78-1234 FAX:0550-78-0205 <http://www.fsw.tv>



コースデータ

全長	4.563km
コース幅	15～25m
ストレート長	1,475m(メインストレート)
コーナー数	16

コースレコード

SF	1'22.572	2014年5月17日(土)
アンドレ・ロッテラー / ベトロナストムスSF14・トヨタRI4A 2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ第2戦		
F1	1'17.287	2008年10月11日(土)
フェリペ・マッサ / フェラーリF2008 2008年 F1世界選手権 フジテレビジョン 日本グランプリレース		
F3	1'33.451	2009年4月4日(土)
井口卓人 / ダラーラF308 2009年 全日本選手権フォーミュラニッポン第1戦		

ツインリンクもてぎ

TWINRING MOTEGI

第4戦 8月22日(土)・23日(日)

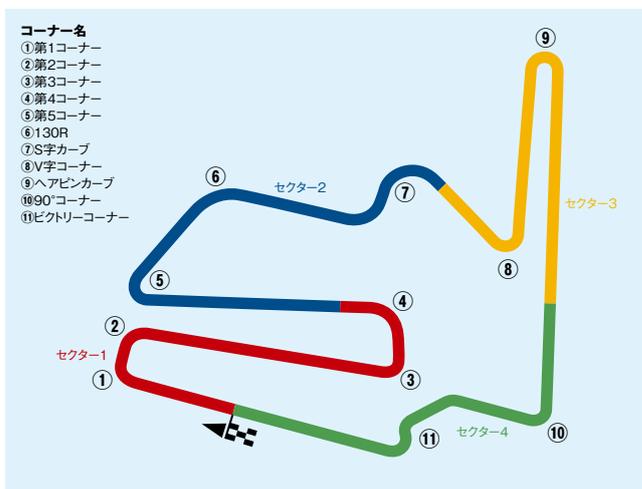
通常のロードコースと日本唯一のオーバル(楕円)コースと、ふたつの異なるタイプを持つ世界的にもまれなサーキット。スーパーフォーミュラで使うロードコースは比較的急なカーブと直線を結んだストップ(減速)＆ゴー(加速)の多いレイアウトとなっている。そのため、ブレーキやタイヤの摩耗が厳しい。



アクセス

- 〔クルマ〕** 北関東自動車道・真岡IC、友部ICより。常磐自動車道・水戸IC、那珂IC、水戸北スマートICより。東北自動車道・宇都宮ICより。
- 〔電車〕** 真岡鉄道・茂木駅よりバス20分。東北新幹線・JR宇都宮駅よりバス90分。
常磐線・JR水戸駅よりバス90分。

株式会社モビリティランド ツインリンクもてぎ
〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009 <http://www.twinring.jp>



コースデータ

全長	4.801km
コース幅	14
ストレート長	762m(ダウンヒルストレート)
高低差	30.4m
コーナー数	14

コースレコード

SF	1'32.700	2013年8月3日(土)
ロイック・デュバル / SF13・トヨタRV8K 2013年 全日本選手権スーパーフォーミュラ第4戦		
F3	1'44.078	2013年5月11日(土)
中山雄一 / ダラーラF312 2013年 全日本F3選手権第4戦		

オートポリス

AUTOPOLIS

第5戦 9月12日(土)・13日(日)

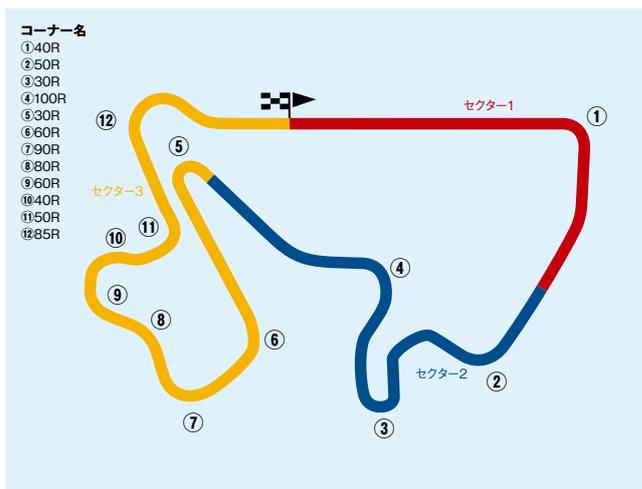
かつてスポーツカー世界選手権も開催された九州で初めての本格的国際格式のサーキット。阿蘇山の近くに位置し、アップダウンに富んだレイアウトが特徴で高低差は50mにも及ぶ。メインストレートは900mと長めだが、コース後半の下り坂からの右コーナーをはじめ、全体的にテクニカル&チャレンジングなコースといえる。



アクセス

【クルマ】 大分自動車道・日田ICより70分。大分自動車道・湯布院ICより70分。福岡自動車道・福岡ICより140分。熊本市内より70分。
【飛行機】 熊本空港より車で40分。

株式会社オートポリス
 〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8
 TEL:0973-55-1111 FAX:0973-55-1113 <http://www.autopolis.jp>



コースデータ

全長	4.674km
コース幅	12~15m
ストレート長	902m(メインストレート)
高低差	52m

コースレコード

SF	1'26.469	2014年9月13日(土)
山本尚貴 / TEAM 無限 SF14・ホンダHR-414E 2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ第5戦		
グループC	1'27.188	1991年10月26日(土)
テオ・ファビ / ジャガー-XJR-14 1991年 スポーツカー世界選手権第8戦		

スポーツランドSUGO

SPORTSLAND SUGO

第6戦 10月17日(土)・18日(日)

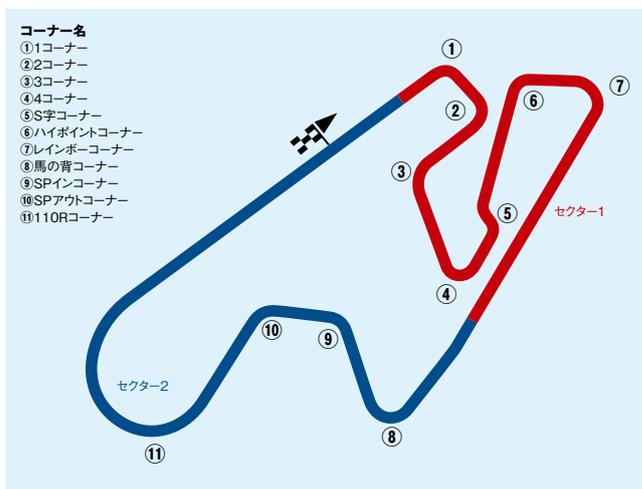
宮城県仙台郊外の山間にあり、地形を活かした高低差の大きなコース。最終コーナーからメインストレートにかけて10%という急勾配をマシンが駆け上ってくる姿はこのサーキットの特徴的なシーンとして知られる。前半はコーナーが連続するテクニカルなセクターで、後半は中高速のパートとなっている。



アクセス

【クルマ】 東北自動車道・村田ICより10分。仙台南ICより15分。
【電車】 東北新幹線・JR仙台駅よりバス60分。
【飛行機】 仙台空港より車で40分。

株式会社菅生
 〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
 TEL:0224-83-3111 FAX:0224-83-3790 <http://www.sportsland-sugo.co.jp>



コースデータ

全長	3.704km
コース幅	10~12.5m
ストレート	704m
高低差	69.83m

コースレコード

SF	1'05.843	2010年9月25日(土)
ロイック・デュバル / FN09・ホンダHR10E 2010年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第5戦		
F3	1'13.964	2013年9月28日(土)
中山雄一 / ダラーラF312 2013年 全日本フォーミュラ3選手権第12戦&13戦		

2014 SUPER FORMULA RACE RESULT

第1戦 鈴鹿サーキット 2014.4.13 5.807km×43周=249.701km 天候:曇 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	43	1:15'49.802	197.57km/h	1:41.203	7	R 1:37.543
2	3	J.ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	43	1:16'06.023		1:41.231	4	R 1:37.284
3	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	43	1:16'11.927		1:40.908	6	R 1:37.404
4	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	43	1:16'19.492		1:41.296	11	R 1:38.127
5	36	A.ロッテラー	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	43	1:16'23.419		1:40.960	1	R 1:37.022
6	37	中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	43	1:16'32.894		1:40.313	3	R 1:37.159
7	19	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	43	1:16'34.645		1:39.995	5	R 1:37.399
8	11	V.リウツツィ	HP SF14	Honda HR-414E	43	1:16'41.940		1:42.122	15	R 1:39.906
9	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40T SF14	Honda HR-414E	43	1:16'43.387		1:42.129	8	R 1:39.380
10	41	武藤 英紀	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-414E	43	1:16'43.966		1:41.792	10	R 1:38.108
11	1	山本 尚貴	TEAM 無観 SF14	Honda HR-414E	43	1:16'56.301	1'06.499	1:42.004	9	R 1:38.086
12	2	中山 友貴	TEAM 無観 SF14	Honda HR-414E	43	1:16'56.999	1'07.197	1:42.574	17	R 1:39.109
13	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	41	1:13'07.112		1:41.394	12	R 1:38.223
14	31	中嶋 大祐	HP SF14	Honda HR-414E	38	1:16'58.025	2Laps	1:42.602	14	R 1:38.509
15	32	小暮 車史	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	28	1:17'20.130	5Laps	1:42.147	18	R 1:39.111
16	20	K.R.N.カーティヤン	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	24	1:43'54.818	19Laps	1:42.307	16	R 1:39.063
17	62	藤嶋 宏紀	DENSO Le Beausset SF14	TOYOTA R14A	14	23'53.997	29Laps	1:41.803	2	R 1:37.148
18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	2	4'08.566	41Laps	2'15.884	19	R 1:39.615	
							43Laps		13	R 1:38.260

●ファステストラップ:1'39.995(209.06km/h) No.19 J.P.デ・オリベイラ Lenovo TEAM IMPUL SF14 34周目 ●ポールポジション:1'37.077 No.36 A.ロッテラー PETRONAS TOM'S SF14 Rはレコードタイム

第2戦 富士スピードウェイ 2014.5.18 レース1 4.563km×25周=114.075km 天候:晴 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	19	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	25	35'37.680	191.598km/h	1:24.834	1	1:23.108
2	37	中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	25	35'42.883	5.203	1:25.261	5	1:23.512
3	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	25	35'44.759	7.079	1:25.241	2	1:23.211
4	39	A.ロッテラー	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	25	35'45.402	7.722	1:25.089	3	1:23.225
5	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	25	35'54.238	16.558	1:25.460	4	1:23.395
6	3	J.ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	25	35'55.167	17.487	1:25.684	10	1:24.235
7	20	K.R.N.カーティヤン	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	25	36'04.107	26.427	1:25.785	9	1:24.085
8	11	V.リウツツィ	HP SF14	Honda HR-414E	25	36'16.127	38.447	1:26.292	18	1:25.085
9	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	25	36'18.107	40.427	1:26.239	12	1:24.367
10	41	武藤 英紀	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-414E	25	36'20.877	43.197	1:26.401	15	1:24.663
11	62	藤嶋 宏紀	DENSO Le Beausset SF14	TOYOTA R14A	25	36'27.145	49.465	1:26.606	17	1:24.773
12	2	中山 友貴	TEAM 無観 SF14	Honda HR-414E	25	36'31.959	54.279	1:26.650	16	1:24.727
13	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	24	36'49.281	1Lap	1:25.281	14	1:24.513
14	1	山本 尚貴	TEAM 無観 SF14	Honda HR-414E	19	28'06.374	6Laps	1:26.223	8	1:23.956
15	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40T SF14	Honda HR-414E	18	26'11.705	7Laps	1:26.319	13	1:24.480
16	32	小暮 車史	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	1	1'35.262	24Laps		19	1:25.287
17	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	0				6	1:23.602
18	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	0				7	1:23.687
19	10	塚越 広大	HP SF14	Honda HR-414E		DNS			11	1:24.294

●ファステストラップ:1'24.834(193.635km/h) No.19 J.P.デ・オリベイラ Lenovo TEAM IMPUL SF14 4周目 ●ポールポジション:1'23.108(197.656km/h) No.19 J.P.デ・オリベイラ Lenovo TEAM IMPUL SF14 Rはレコードタイム

第2戦 富士スピードウェイ 2014.5.18 レース2 4.563km×35周=159.705km 天候:晴 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	36	A.ロッテラー	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	35	50'45.074	188.450km/h	1:25.120	1	R 1:22.572
2	19	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	35	50'48.571	3.497	1:25.047	2	R 1:22.706
3	37	中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	35	51'01.617	16.543	1:25.481	3	1:22.741
4	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	35	51'06.143	21.069	1:25.548	5	1:22.972
5	1	山本 尚貴	TEAM 無観 SF14	Honda HR-414E	35	51'10.553	25.479	1:25.676	7	1:23.234
6	20	K.R.N.カーティヤン	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	35	51'17.633	32.559	1:25.543	8	1:23.253
7	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	35	51'25.877	40.803	1:25.584	4	1:22.788
8	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	35	51'27.375	42.301	1:26.317	6	1:23.202
9	10	塚越 広大	HP SF14	Honda HR-414E	35	51'27.946	42.872	1:26.036	13	1:24.354
10	11	V.リウツツィ	HP SF14	Honda HR-414E	35	51'34.175	49.101	1:26.233	18	1:25.085
11	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	35	51'34.552	49.478	1:25.076	9	1:23.842
12	41	武藤 英紀	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-414E	35	51'40.758	55.684	1:26.389	15	1:24.663
13	62	藤嶋 宏紀	DENSO Le Beausset SF14	TOYOTA R14A	35	51'46.288	1'01.214	1:26.287	17	1:24.773
14	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	35	51'50.518	1'05.444	1:26.397	14	1:26.373
15	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40T SF14	Honda HR-414E	35	51'51.219	1'06.145	1:26.634	12	1:23.984
16	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	35	51'53.414	1'08.340	1:26.316	11	1:23.927
17	3	J.ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	35	51'53.844	1'08.770	1:25.737	10	1:23.882
18	2	中山 友貴	TEAM 無観 SF14	Honda HR-414E	34	51'21.591	1Lap	1:26.145	16	1:24.727
19	32	小暮 車史	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E		DNS			19	1:25.287

●ファステストラップ:1'25.047(193.150km/h) No.19 J.P.デ・オリベイラ Lenovo TEAM IMPUL SF14 17周目 ※No.38はレース1における追突行為、コースアウト違反によりドライブスルーペナルティ Rはレコードタイム

●ポールポジション:1'22.572 No.36 A.ロッテラー PETRONAS TOM'S SF14

第3戦 富士スピードウェイ 2014.7.13 4.563km×55周=250.965km 天候:曇/雨 コース:ドライ/ウェット

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	37	中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	55	1:26'37.171	173.629km/h	1:25.226	4	1:23.751
2	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	55	1:26'37.951	0.780	1:25.204	9	1:24.350
3	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	55	1:26'40.390	3.219	1:25.157	8	1:27.161
4	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	55	1:26'41.121	3.950	1:25.256	5	1:23.858
5	1	山本 尚貴	TEAM 無観 SF14	Honda HR-414E	55	1:26'43.292	6.121	1:25.754	7	1:23.965
6	36	A.ロッテラー	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	55	1:27'14.733	29.406	1:24.869	6	1:23.943
7	20	K.R.N.カーティヤン	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	55	1:27'14.733	37.562	1:25.219	11	1:24.380
8	3	J.ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	55	1:27'15.786	38.615	1:25.129	3	1:23.730
9	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	55	1:27'31.752	54.581	1:26.141	13	1:25.955
10	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	55	1:28'00.476	1'23.305	1:26.385	19	1:27.048
11	41	武藤 英紀	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-414E	54	1:26'59.259	1Lap	1:26.498	18	1:25.550
12	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40T SF14	Honda HR-414E	54	1:27'30.263	1Lap	1:26.007	10	1:24.366
13	2	中山 友貴	TEAM 無観 SF14	Honda HR-414E	49	1:26'57.764	6Laps	1:26.661	12	1:24.936
14	19	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	48	1:09'52.524	7Laps	1:24.789	2	1:23.729
15	62	藤嶋 宏紀	DENSO Le Beausset SF14	TOYOTA R14A	47	1:09'44.510	8Laps	1:26.120	15	1:25.237
16	8	A.カルダレリ	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	44	1:03'51.134	11Laps	1:24.893	1	1:23.667
17	32	小暮 車史	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	35	54'31.361	20Laps	1:26.281	16	1:25.393
18	10	塚越 広大	HP SF14	Honda HR-414E	25	1:06'37.834	30Laps	1:25.916	14	1:25.070
19	11	V.リウツツィ	HP SF14	Honda HR-414E	0				17	1:25.430

●ファステストラップ:1'24.789(193.737km/h) No.19 J.P.デ・オリベイラ Lenovo TEAM IMPUL SF14 40周目 ●ポールポジション:1'23.667 No.8 A.カルダレリ Team KYGNUS SUNOCO SF14

第4戦 ツインリンクもてぎ 2014.8.24 4.801km×52周=249.652km 天候:曇/雨 コース:ドライ/ウェット

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	19	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	52	1:36'23.266	155.42km/h	1:34.977	1	R 1:32.321
2	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	52	1:36'24.506	1.240	1:35.378	4	1:32.772
3	36	A.カルダレリ	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	52	1:36'25.054	1.788	1:36.045	6	1:33.164
4	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	52	1:36'25.522	2.256	1:35.949	3	1:32.706
5	41	武藤 英紀	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-414E	52	1:36'25.946	2.680	1:36.229	7	1:33.341
6	10	塚越 広大	HP SF14	Honda HR-414E	52	1:36'28.150	4.884	1:36.235	14	1:34.093
7	37	中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	52	1:36'28.429	5.163	1:36.157	5	1:32.792
8	3	J.ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	52	1:36'28.884	5.618	1:36.569	—	—
9	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40T SF14	Honda HR-414E	52	1:36'30.668	7.402	1:36.037	2	R 1:32.485
10	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	52	1:36'31.675	8.409	1:36.398	8	1:33.346
11	32	小暮 車史	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	52	1:36'35.154	11.888	1:36.420	13	1:33.996
12	2	中山 友貴	TEAM 無観 SF14	Honda HR-414E	52	1:36'38.200	14.934	1:35.913	—	—
13	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	52	1:36'43.403	20.137	1:36.272	9	1:33.425
14	11	V.リウツツィ	HP SF14	Honda HR-414E	52	1:36'44.032	20.766	1:36.705	10	1:33.436
15	1	山本 尚貴	TEAM 無観 SF14	Honda HR-414E	51	1:36'27.018	1Lap	1:35.251	—	—
16	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	51	1:36'33.429	1Lap	1:3		

2014 SUPER FORMULA RACE RESULT

第5戦 オートポリス 2014.9.14 4.674km×46周=215.004km 天候:晴 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Quality Pos.	Quality Time
1	36	A.ロッテラー	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	46	1:10'08.548	183.708km/h	1'30.405	3	R 1'26.569
2	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	46	1:10'21.487	12.939	1'31.098	2	R 1'26.535
3	19	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	46	1:10'22.816	14.268	1'31.207	9	R 1'27.381
4	10	塚越 広大	HP SF14	Honda HR-414E	46	1:10'23.758	15.210	1'31.331	4	R 1'26.646
5	3	J.ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	46	1:10'25.540	16.992	1'30.998	10	R 1'27.721
6	37	中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	46	1:10'31.086	22.538	1'31.484	7	R 1'26.875
7	1	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	46	1:10'35.896	27.348	1'31.363	1	R 1'26.469
8	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	46	1:10'36.753	28.205	1'31.184	14	出走せず
9	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40T SF14	Honda HR-414E	46	1:10'41.853	33.505	1'31.255	5	R 1'26.735
10	41	武藤 英紀	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-414E	46	1:10'49.541	40.993	1'31.499	12	R 1'27.995
11	62	藤嶋 宏紀	DENSO Le Beausset SF14	TOYOTA R14A	46	1:11'16.734	1'08.185	1'31.998	17	1'29.712
12	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	46	1:11'23.231	1'14.683	1'31.570	13	R 1'28.039
13	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	46	1:11'24.027	1'15.479	1'31.634	8	R 1'27.124
14	2	中山 友貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	46	1:11'31.135	1'22.587	1'31.822	15	1'28.574
15	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	46	1:11'32.607	1'24.059	1'32.196	6	1'26.578
16	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	46	1:11'32.921	1'24.373	1'32.194	16	1'29.171
17	20	K.R.N.カーティケヤン	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	41	1:03'35.468	5Laps	1'31.551	—	—
11	V.リウツィ	HP SF14	Honda HR-414E	34	52'55.930	12Laps	1'32.021	18	1'30.336	
32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	0	—	—	—	11	R 1'27.932	

●ファステストラップ:1'30.405(186.122km/h) No.36 A.ロッテラー PETRONAS TOM'S SF14 45周目 ●ポールポジション:1'26.469 No.1 山本尚貴 TEAM 無限 SF14 Rはレコードタイム

第6戦 スポーランドSUGO 2014.9.28 3.704km×68周=251.872km 天候:晴 コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Quality Pos.	Quality Time
1	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40T SF14	Honda HR-414E	68	1:25'21.590	177.055km/h	1'07.419	2	1'05.986
2	37	中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1:25'23.460	1.870	1'07.715	6	1'06.370
3	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	68	1:25'27.096	5.506	1'07.917	7	1'06.396
4	3	J.ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	68	1:25'37.665	14.075	1'08.181	4	1'06.096
5	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	68	1:25'38.374	16.784	1'08.286	10	1'06.755
6	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1:25'39.103	17.513	1'08.090	5	1'06.150
7	1	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	68	1:25'39.248	17.658	1'07.964	1	1'05.894
8	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	68	1:25'41.667	20.077	1'07.602	16	1'07.180
9	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1:25'46.045	24.455	1'07.385	9	1'06.700
10	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	68	1:25'46.687	25.097	1'07.828	14	出走せず
11	20	K.R.N.カーティケヤン	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	68	1:25'48.372	26.782	1'07.803	17	1'07.857
12	41	武藤 英紀	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-414E	68	1:25'58.522	36.932	1'07.671	19	1'08.032
13	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	68	1:26'02.126	40.536	1'06.743	13	1'06.875
14	2	中山 友貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	68	1:26'16.968	55.378	1'08.126	15	1'07.125
62	藤嶋 宏紀	DENSO Le Beausset SF14	TOYOTA R14A	28	40'03.773	40 Laps	1'09.255	20	1'08.153	
11	V.リウツィ	HP SF14	Honda HR-414E	22	32'59.039	46 Laps	1'09.191	12	1'06.802	
10	塚越 広大	HP SF14	Honda HR-414E	14	20'24.037	54 Laps	1'09.090	8	1'06.466	
36	A.ロッテラー	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	0	—	68 Laps	—	3	1'06.058	
19	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	0	—	68 Laps	—	11	1'06.793	
34	伊沢 拓也	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	0	—	68 Laps	—	18	1'07.869	

●ファステストラップ:1'06.743(199.801km/h) No.18 中山雄一 KCMG Elyse SF14 67周目 ※No.41はSC走行中の追い越しにより、ドライビングスルーペナルティ ●ポールポジション:1'05.894 No.1 山本尚貴 TEAM 無限 SF14

第7戦 鈴鹿サーキット 2014.11.9 レース1 5.807km×20.1周=110.333km 天候:雨 コース:ウェット

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Quality Pos.	Quality Time
1	19	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	19	39'41.541	166.78km/h	1'55.837	4	1'38.248
2	37	中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	19	39'45.387	3.846	1'56.520	2	1'38.085
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	19	39'47.118	5.577	1'56.416	1	1'38.085
4	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	19	39'55.652	14.111	1'56.835	3	1'38.231
5	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	19	39'58.942	17.401	1'56.935	7	1'38.506
6	3	J.ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	19	40'02.239	20.698	1'56.915	10	1'38.971
7	1	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	19	40'03.352	21.811	1'57.058	6	1'38.474
8	10	塚越 広大	HP SF14	Honda HR-414E	19	40'04.501	22.960	1'57.275	9	1'38.814
9	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	19	40'05.564	24.023	1'57.533	17	1'39.705
10	20	K.R.N.カーティケヤン	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	19	40'06.182	24.641	1'57.696	11	1'39.008
11	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	19	40'06.908	25.367	1'56.642	5	1'38.418
12	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40T SF14	Honda HR-414E	19	40'07.981	26.440	1'57.019	13	1'39.164
13	41	武藤 英紀	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-414E	19	40'09.338	27.797	1'57.270	14	1'39.243
14	34	伊沢 拓也	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	19	40'19.032	37.491	1'58.573	16	1'39.630
15	11	V.リウツィ	HP SF14	Honda HR-414E	19	40'20.636	39.095	1'57.655	18	1'39.729
16	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	19	40'22.305	40.764	1'56.614	8	1'38.519
2	中山 友貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	14	30'14.657	5Laps	1'57.716	12	1'39.036	
62	藤嶋 宏紀	DENSO Le Beausset SF14	TOYOTA R14A	14	30'18.619	5Laps	1'59.721	20	1'40.748	
32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	9	18'06.452	10Laps	1'57.936	15	1'39.450	
18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	9	18'12.684	10Laps	1'58.303	19	1'40.031	

●ファステストラップ:1'55.837(180.47km/h) No.19 J.P.デ・オリベイラ Lenovo TEAM IMPUL SF14 8周目 ※スタートやり直しにより1周減算 ※No.8はスタート違反によりドライビングスルーペナルティ ●ポールポジション:1'38.085(213.13km/h) No.36 A.ロッテラー PETRONAS TOM'S SF14

第7戦 鈴鹿サーキット 2014.11.9 レース2 5.807km×28周=162.596km 天候:雨 コース:ウェット

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Quality Pos.	Quality Time
1	37	中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	28	54'37.300	178.61km/h	1'55.937	1	1'37.507
2	36	A.ロッテラー	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	28	54'46.131	8.831	1'56.112	3	1'37.717
3	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	28	54'46.709	9.409	1'55.869	2	1'37.671
4	19	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	28	54'48.119	10.819	1'56.110	6	1'38.000
5	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	28	54'59.356	22.056	1'56.418	7	1'38.239
6	1	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	28	55'11.504	34.204	1'57.229	11	1'38.434
7	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING SF14	Honda HR-414E	28	55'15.540	38.240	1'56.829	5	1'37.900
8	20	K.R.N.カーティケヤン	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	28	55'16.498	39.198	1'56.789	10	1'38.420
9	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40T SF14	Honda HR-414E	28	55'16.956	39.656	1'56.761	12	1'38.823
10	3	J.ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	28	55'20.065	42.765	1'57.329	8	1'39.721
11	11	V.リウツィ	HP SF14	Honda HR-414E	28	55'20.761	43.461	1'57.057	18	1'39.729
12	41	武藤 英紀	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-414E	28	55'28.877	51.577	1'56.591	14	1'39.142
13	10	塚越 広大	HP SF14	Honda HR-414E	28	55'42.149	1'04.849	1'57.383	9	1'38.375
14	34	伊沢 拓也	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	28	55'43.979	1'06.679	1'57.353	16	1'39.630
15	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	28	55'44.610	1'07.310	1'57.650	17	1'39.705
16	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	28	55'45.946	1'08.646	1'57.521	15	1'39.450
17	2	中山 友貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	28	55'47.075	1'09.775	1'57.473	13	1'39.010
18	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	28	55'52.567	1'15.267	1'57.927	19	1'40.031
19	62	藤嶋 宏紀	DENSO Le Beausset SF14	TOYOTA R14A	28	56'00.189	1'22.889	1'58.013	20	1'40.748
39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	14	27'59.240	14Laps	1'57.824	4	1'37.862	

●ファステストラップ:1'55.869(180.42km/h) No.8 L.デュバル Team KYGNUS SUNOCO SF14 27周目 ●ポールポジション:1'37.507 No.37 中嶋一貴 PETRONAS TOM'S SF14

1996-2014 DRIVER & TEAM POINT RANKING

1996

TEAM
DRIVER

1996 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	X-JAPAN Racing Team LeMans	78	6	ANABUKI 童夢無限 / avex 童夢無限	21
2	かもめサービスIMPUL/カルソニックIMPUL	38	7	神奈川クリニック STELLAR	9
3	PIAA NAKAJIMA RACING	35	8	ADVAN/バルチェッカーズ / バルチェッカーズ	8
4	SHIONOGI TEAM NOVA	35	9	NAVI CONNECTION RACING TEAM	5
5	FUNAI SUPER AGURI	28	10	TEAM 5ZIGEN	3

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台が得点対象となる。

1996 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Engine	Tire	Rd.01 鈴鹿 4/28	Rd.02 MINE 5/12	Rd.03 富士 5/26	Rd.04 十勝 6/23	Rd.05 鈴鹿 7/7	Rd.06 SUGO 8/4	Rd.07 富士 9/1	Rd.08 MINE 9/15	Rd.09 鈴鹿 9/29	Rd.10 富士 10/20	Total
1	25	R.シューマッハー	X-JAPAN Racing Team LeMans	レイナード96D	無限MF308	BS	4	10	(19)	10	3	(R)	(R)	10	3	(R)	40
2	24	服部 尚貴	X-JAPAN Racing Team LeMans	レイナード96D	無限MF308	BS	(8)	(R)	6	4	4	(8)	10	4	10	(R)	38
3	19	星野 一義	カルソニック RACING TEAM with IMPUL	ローラT96/52	無限MF308	BS	10	(R)	4	3	2	6	(R)	(R)	6	(R)	31
4	64	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	4	(R)	(R)	10	10	(R)	(R)	1	(R)	25
5	10	N.フォンタナ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51	無限MF308	BS	(14)	6	10	(R)	(8)	(R)	6	(R)	(11)	(R)	22
6	8	中野 信治	TEAM avex 童夢 with 無限	童夢F104i	無限MF308	BS	6	(13)	(R)	(9)	1	(7)	4	6	(9)	3	20
7	55	金石 勝智	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D、96D	無限MF308	BS	1	(R)	3	2	(7)	(R)	3	(R)	(R)	10	19
8	9	P.デ・ラ・ロサ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51	無限MF308	BS	2	(7)	1	1	(R)	(11)	1	(R)	2	6	13
9	65	黒澤 琢弥	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	(8)	(15)	(7)	6	2	(8)	2	(8)	(R)	10
10	56	本山 哲	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D、94D	無限MF308	BS	(7)	(R)	2	(17)	(12)	4	2	1	(R)	(R)	9
11	7	影山 正美	ADVAN/バルチェッカーズ	ローラT95/50 レイナード96D	無限MF308	YH	(10)	2	(R)	6	(17)	(15)	(9)	(11)	(R)	(R)	8
12	1	鈴木 利男	かもめサービス RACING TEAM with IMPUL	ローラT96/52、T94/50	無限MF308	BS	(18)	(R)	(12)	(11)	(9)	(10)	(7)	3	4	(R)	7
13	20	A.ギルバートスコット	神奈川クリニック STELLAR	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	(R)	(7)	(15)	(R)	3	(R)	(7)	(R)	2	5
14	27	影山 正彦	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D、96D	無限MF308	BS	(R)	(R)	(R)	(R)	(16)	(12)	(R)	(9)	(7)	4	4
15	21	M.クルム	神奈川クリニック STELLAR	レイナード96D、95D	無限MF308	BS	3	1	(11)	(16)	(11)	(9)	(R)	(R)	(R)	(R)	4
16	5	M.アピチュラ	TEAM 5ZIGEN	レイナード95D、96D	ジャッドKV-II	YH	(12)	3	(8)	(8)	(14)	(13)	(12)	(R)	(10)	(R)	3
17	28	近藤 真彦	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード94D、95D	無限MF308	BS	(R)	(9)	(16)	(14)	(R)	(R)	(14)	—	(R)	1	1
17	2	山本 勝巳	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	童夢F104i	無限MF308	BS	(9)	(R)	(10)	(R)	(R)	1	(R)	(14)	(R)	(R)	1
72	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	ローラT93/50	コスワースDFV	BS	(R)	(11)	(R)	(13)	(19)	(16)	(13)	(R)	(R)	(7)	0	0
28	T.クリステンセン	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D	無限MF308	BS	—	—	—	—	—	—	—	(8)	—	—	—	0
6	光貞 秀俊	TEAM 5ZIGEN	ローラT94/50 レイナード95D	ジャッドKV-II	YH	(R)	(R)	(9)	(R)	(10)	(14)	(10)	(12)	(R)	(R)	(R)	0
31	岡田 秀樹	チーム ガルウイング	ローラT95/50	無限MF308	BS	(11)	(R)	(17)	(10)	(20)	(R)	(11)	(10)	(R)	(R)	(R)	0
17	大西 太一郎	バルチェッカーズ	ローラT94/50	無限MF308	YH	(15)	(10)	(14)	(18)	(15)	(R)	(R)	(R)	(14)	(R)	(R)	0
30	田嶋 栄一	チーム ガルウイング	ローラT94/50	無限MF308	BS	(13)	(12)	(13)	(12)	(18)	(R)	(R)	(R)	(R)	(NS)	0	0
12	羽根 幸浩	スラムビューティハウス CERUMO	ローラT94/50	無限MF308	BS	(16)	(R)	(R)	(R)	(13)	(R)	(16)	(13)	(12)	(R)	(R)	0
15	田中 哲也	ニホンロード ヤマダ	ローラT93/50	無限MF308	YH	—	—	—	—	—	(R)	—	—	(13)	—	—	0
73	玉中 哲二	ASAHI KIKO SPORTS	ローラT93/50	コスワースDFV	BS	(17)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(15)	(R)	(R)	(R)	0
15	山田 政夫	ニホンロード ヤマダ	ローラT93/50	無限MF308	YH	(落)	(落)	(18)	(落)	(落)	—	(15)	(落)	—	(R)	(R)	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走せず、落=予選不通過、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。●タイヤ略号:BS=ブリヂストン、YH=ヨコハマ。

1997

TEAM
DRIVER

1997 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	SHIONOGI TEAM NOVA	89	7	FUNAI SUPER AGURI	17
2	TEAM IMPUL	44	8	TEAM TMS	12
3	Team LeMans	23	9	オートテック STELLAR/STP STELLAR	6
4	PIAA NAKAJIMA RACING	20	10	かもめサービスMIRAI/スーパーノヴァMIRAI	5
5	TEAM CERUMO	20	11	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	4
6	NAVI CONNECTION RACING TEAM	19	12	エースケー アスカ	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台が得点対象となる。

1997 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Engine	Tire	Rd.01 鈴鹿 4/27	Rd.02 MINE 5/18	Rd.03 富士 6/1	Rd.04 鈴鹿 7/6	Rd.05 SUGO 8/3	Rd.06 富士 8/31	Rd.07 MINE 9/14	Rd.08 もてぎ 9/28	Rd.09 富士 10/19	Rd.10 鈴鹿 11/9	Total
1	9	P.デ・ラ・ロサ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	無限MF308		10	10	6	4	10	10	6	10	6	10	82
2	19	黒澤 琢弥	TEAM IMPUL	ローラT96/52	無限MF308		6	6	10	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	6	28
3	1	N.フォンタナ	Team LeMans	レイナード96D、97D	無限MF308		(9)	(8)	1	(R)	(7)	6	10	4	(R)	(R)	21
4	11	光貞 秀俊	TEAM CERUMO	ローラT96/52	無限MF308		4	(7)	3	3	(R)	4	4	(9)	2	—	20
5	27	影山 正美	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード96D、97D	無限MF308		(11)	(9)	(11)	2	1	3	(7)	6	4	3	19
6	64	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	無限MF308		(R)	(R)	4	10	(R)	(R)	2	(R)	(R)	2	18
7	20	影山 正彦	TEAM IMPUL	レイナード96D ローラT95/50	無限MF308		(R)	(R)	2	6	4	(R)	(15)	(R)	(12)	4	16
8	18	R.ファーマン	TEAM TMS	レイナード97D	無限MF308		(R)	3	(15)	1	6	(13)	(R)	2	(R)	(11)	12
9	55	金石 勝智	FUNAI SUPER AGURI	レイナード96D	無限MF308		(7)	(R)	(R)	(10)	(R)	(18)	(8)	(R)	10	(R)	10
10	10	飯田 章	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	無限MF308		1	4	(R)	(7)	(R)	2	(10)	(11)	(R)	(13)	7
11	56	本山 哲	FUNAI SUPER AGURI	レイナード94D、97D	無限MF308		3	(R)	(R)	(R)	(R)	1	(R)	3	—	—	7
12	35	M.アピチュラ	オートテック STELLAR	レイナード96D	無限MF308		—	—	—	(8)	2	(8)	3	(R)	1	(8)	6
13	33	鈴木 利男	かもめサービス with MIRAI	レイナード97D、96D	無限MF308		(8)	2	(7)	(R)	3	(16)	(9)	(8)	(R)	(9)	5
14	8	脇阪 寿一	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	童夢F104R	無限MF308		(12)	1	(R)	(R)	3	(7)	(11)	3	(NS)	(R)	4
15	65	山西 康司	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	無限MF308		2	(R)	(8)	(R)	(R)	(R)	(R)	(17)	(R)	(7)	2
16	2	E.トゥエロ	Team LeMans	レイナード96D、97D	無限MF308		(R)	(R)	(9)	(11)	(R)	1	—	—	—	—	1
16	21	田中 哲也	エースケー アスカ	ローラT95/50	無限MF308		(R)	—	—	—	(R)	(11)	(14)	(R)	(13)	1	1
35	11	M.クルム	オートテック STELLAR Team LeMans TEAM CERUMO	レイナード96D レイナード97D ローラT96/52	無限MF308		(R)	(13)	(R)	—	—	—	—	1	—	(10)	1
28	山本 勝巳	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D、97D、96D	無限MF308		(10)	(R)	(R)	(9)	(R)	(12)	(R)	(14)	(7)	(R)	(R)	0
34	A.ポルドリーニ	STP STELLAR	ローラT96/51	無限MF308		—	—	—	—	—	—	(13)	(7)	—	(R)	0	0
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード96D	無限MF308		(R)	(10)	(16)	(15)	(9)	(R)	(12)	(15)	(8)	(14)	0	0
17	近藤 真彦	TEAM TMS	レイナード97D	無限MF308		(15)	(R)	(12)	(14)	(8)	(14)	(R)	(13)	(11)	(R)	0	0
6	田嶋 栄一	TEAM 5ZIGEN	レイナード96D	ジャッドKV-II		—	—	—	(13)	(R)	(9)	(R)	(R)	(R)	(12)	0	0
2	立川 祐隆	Team LeMans	レイナード96D、97D	無限MF308		—	—	—	—	—	—	—	—	(9)	(R)	0	0
5	M.グーセン	TEAM 5ZIGEN	レイナード96D	ジャッドKV-II 無限MF308		(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(10)	(R)	(10)	(R)	(R)	0	0
63	D.マラガムフ	SRI LANKA with TEAM LEYJUN	レイナード96D	無限MF308		(R)	(11)	(14)	(R)	(10)	—	—	—	—	—	—	0
12	柴原 真介	TEAM CERUMO	ローラT94/50	無限MF308		—	—	—	—	—	—	—	(12)	(10)	(R)	0	0
6	R.ヴァルタネン	TEAM 5ZIGEN	レイナード95D	ジャッドKV-II		(R)	(R)	(10)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
34	A.ギルバートスコット	オートテック STELLAR	ローラT96/51	無限MF308		—	—	—	(12)	—	(R)	—	—	(14)	—	—	0
37	山田 政夫	タカギB-1 RACING TEAM	ローラT94/50	無限MF308		(R)	(12)	(R)	(R)	(失)	—	(落)	(落)	(落)	(落)	0	0
36	玉中 哲二	タカギB-1 RACING TEAM	ローラT95/50	無限MF308		(13)	(R)	(13)	(16)	(R)	(R)	(R)	(R)	(落)	(落)	0	0
12	S.カヴァナ	TEAM CERUMO	レイナード95D	コスワースAC		(14)	(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード96D、95D	無限MF308		—	—	—	—	—	(15)	(16)	(16)	(R)	(16)	0	0
32	V.ンスピリ	スーパーノヴァ with MIRAI	レイナード97D	無限MF308		—	—	—	—	—	—	—	—	(R)	(15)	0	0
62	戸田 哲史	SRI LANKA with TEAM LEYJUN	レイナード94D	無限MF308		—	—	—	(17)	(R)	(17)	—	—	—	—	—	0
34	M.マルティネーニ	オートテック STELLAR	ローラT96/51	無限MF308		—	—	(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
56	道上 龍	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D	無限MF308		—	—	—	—	—	—	—	—	—	(NS)	0	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走せず、失=失格、落=予選不通過、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。●タイヤはブリヂストンのワンメイク。●第2戦はスタート直後に赤旗中断。最初のスタートでクラッシュした高木、本山、近藤は再スタートできなかったためリタイア。(同様の事例は本書内ではすべてリタイアと表記)

1996-2014 DRIVER & TEAM POINT RANKING

1998

TEAM

DRIVER

1998 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	LEMONEd Racing Team LeMans	66	6	JACCS MOONCRAFT M.S.P	11
2	SHIONOGI TEAM NOVA	51	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	11
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	38	8	PIAA NAKAJIMA RACING	10
4	MAZIORA TEAM IMPUL	27	9	TEAM TMS	2
5	TEAM SZIGEN	17	10	BE BRIDES RACING	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

1998 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 4/19	Rd.02 もてぎ MINE 5/17	Rd.03 富士 5/31	Rd.04 もてぎ 6/14	Rd.05 鈴鹿 7/5	Rd.06 SUGO 8/2	Rd.07 富士 8/30	Rd.08 MINE 9/20	Rd.09 富士 10/18	Rd.10 鈴鹿 11/29	Total
1	8	本山 哲	LEMONEd Racing Team LeMans	レイナード97D	(R)	10	(R)	6	(R)	3		10	6	(R)	45
2	1	影山 正美	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	6	(10)	(R)	4	4	10		1	3	10	38
3	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラT97/51	(R)	6	(R)	10	3	(R)		(R)	(R)	6	25
4	20	影山 正彦	MAZIORA TEAM IMPUL	ローラT96/52	10	(R)	(R)	(8)	10	(R)		(R)	(R)	1	21
5	7	N.フォンタナ	LEMONEd Racing Team LeMans	レイナード97D	4	(R)	1	(R)	(8)	(R)		6	10	(8)	21
6	5	M.ゲーセン	TEAM SZIGEN	レイナード97D	1	3	(R)	(R)	6	(R)		4	(R)	3	17
7	2	R.ファーマン	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51, T97/51 Gフォース98N	(12)	(R)	(R)	(14)	(R)	6		3	4	(7)	13
8	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラT98/51	3	2	6	(R)	(R)	(7)		2	(10)	(R)	13
9	14	道上 龍	JACCS MOONCRAFT M.S.P	レイナード96D	(7)	4	3	(9)	(R)	(R)		(R)	(R)	4	11
10	11	野田 英樹	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	ローラT98/51	2	(R)	2	1	(R)	4		(R)	(9)	(R)	9
11	65	T.コロネル	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	(8)	1	(R)	3	2	2		(R)	(R)	(14)	8
12	19	黒澤 琢弥	MAZIORA TEAM IMPUL	ローラT98/51	(R)	(R)	4	(R)	(R)	(R)		(R)	(R)	2	6
13	12	飯田 章	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	ローラT96/52	-	-	(8)	(R)	(R)	(9)		(R)	2	(12)	2
13	18	立川 祐路	TEAM TMS	レイナード97D	-	-	(9)	2	(R)	(R)		(R)	(R)	(9)	2
15	64	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	-	-	-	1	-	-		-	-	-	1
15	64	山西 康司	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	(R)	(7)	(R)	(R)	-	1		(R)	(R)	(11)	1
15	21	田中 哲也	BE BRIDES RACING	ローラT95/50	(R)	(R)	(7)	(R)	(R)	(11)		(R)	1	(16)	1
17	近藤 真彦	TEAM TMS	レイナード97D	(9)	(8)	(11)	(10)	(7)	(8)		(7)	(7)	(R)	0	0
6	脇阪 薫一	TEAM SZIGEN	レイナード96D	(10)	(R)	(10)	(7)	(R)	(12)		(R)	(R)	(10)	0	0
22	石川 朗	BE BRIDES RACING	レイナード94D	(R)	(R)	(R)	(11)	(9)	(10)		(R)	(8)	(15)	0	0
36	玉中 哲二	タカギ B-1 RACING TEAM	ローラT96/51	(R)	(11)	(14)	(13)	(R)	(R)		(8)	(R)	(17)	0	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード95D, 97D	(13)	-	-	(R)	(NS)	(13)		(9)	(R)	(18)	0	0
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード96D	(R)	(9)	(R)	(R)	(R)	(R)		(R)	(R)	(13)	0	0
62	柴原 真介	TEAM LEYJUN	レイナード95D, 96D	(11)	(R)	(12)	(12)	(R)	(R)		(10)	(11)	(R)	0	0
35	D.マラカムワ	STELLAR INTERNATIONAL	レイナード96D	-	-	-	-	-	-	(落)		(R)	(12)	-	0
63	大西 太一郎	TEAM LEYJUN	レイナード95D	-	(R)	(13)	-	-	-	-		-	-	-	0
18	高橋 毅	TEAM TMS	レイナード97D	(14)	(R)	-	-	-	-	-		-	-	-	0
37	山田 政夫	タカギ B-1 RACING TEAM	ローラT94/50, T95/50	-	(R)	(15)	(R)	(落)	-	-		-	-	-	0
35	徳田 季晴	KYOETSU STELLAR	レイナード96D	(R)	-	-	-	-	-	-		-	-	-	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、落=予選不通過、-は不出場。●太字はポールポジション。第7戦のポールは黒澤琢弥。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●第7戦富士は悪天候のため決勝は中止。●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1999

TEAM

DRIVER

1999 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	81	6	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	17
2	UNLIMITED RACING Team LeMans	52	7	TEAM LEYJUN	16
3	BE BRIDES IMPUL	24	8	TEAM TMS	11
4	SHIONOGI TEAM NOVA	22	9	SPEEDMASTER MOONCRAFT	10
5	TEAM SZIGEN	21	10	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	6

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

1999 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 4/18	Rd.02 もてぎ 5/9	Rd.03 MINE 5/23	Rd.04 富士 6/6	Rd.05 鈴鹿 7/4	Rd.06 SUGO 8/1	Rd.07 富士 9/5	Rd.08 MINE 9/19	Rd.09 もてぎ 10/3	Rd.10 鈴鹿(東) 11/14	Total
1	64	T.コロネル	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	6	(R)	4	10	6	10	10	(R)	4	(R)	50
2	1	本山 哲	UNLIMITED RACING Team LeMans	レイナード99L	10	6	10	(R)	(R)	6	4	(R)	10	(R)	46
3	65	光貞 秀俊	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	4	10	(8)	(10)	2	(11)	3	10	2	(9)	31
4	9	R.ファーマン	SHIONOGI TEAM NOVA	GフォースGF03	(R)	4	6	(9)	(R)	1	(10)	(9)	(8)	10	21
5	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L	-	2	(R)	4	(11)	3	(9)	3	(R)	6	18
6	19	影山 正美	BE BRIDES IMPUL	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(R)	1	(12)	10	(R)	(R)	(R)	3	3	17
7	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(15)	(10)	(NS)	(9)	2	6	4	(11)	4	16
8	62	P.ダンブレンク	TEAM LEYJUN	レイナード99L	3	1	2	6	(R)	(R)	2	2	(10)	(10)	16
9	18	黒澤 琢弥	TEAM TMS	レイナード99L	(R)	(R)	(12)	2	4	4	-	-	-	-	10
10	14	道上 龍	SPEEDMASTER MOONCRAFT	ローラB99/51	1	(8)	(7)	(8)	(NS)	(R)	(7)	(R)	6	2	9
11	20	野田 英樹	BE BRIDES IMPUL	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(16)	(13)	(14)	1	(R)	(R)	6	(9)	(11)	7
12	2	山西 康司	UNLIMITED RACING Team LeMans	レイナード99L	(NS)	(NS)	3	3	(8)	(9)	(8)	(R)	(16)	(R)	6
13	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	2	3	(R)	(7)	(7)	(R)	(R)	1	(8)	6	6
14	6,5	田中 哲也	TEAM SZIGEN	レイナード99L	(R)	-	-	-	3	(R)	(11)	(R)	(14)	(18)	3
15	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラB99/51 レイナード99L	(9)	(R)	(R)	(11)	(R)	(8)	1	(R)	(R)	(7)	1
15	15	影山 正彦	SPEEDMASTER MOONCRAFT	ローラB99/51	(R)	(12)	(R)	(13)	(R)	(13)	(R)	1	(12)	(13)	1
15	10	加藤 寛規	SHIONOGI TEAM NOVA	GフォースGF03	(R)	(10)	(R)	(15)	(10)	(12)	(12)	(R)	(7)	1	1
15	17	D.シュワガー	TEAM TMS	レイナード99L	(R)	(7)	(R)	1	(R)	(7)	-	-	-	-	1
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード99L	(8)	(R)	(11)	(18)	(13)	(R)	(13)	(7)	(R)	(16)	0	0
12	飯田 章	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(7)	(R)	(R)	(16)	(R)	(10)	(14)	(R)	(13)	(12)	0	0
63	柴原 真介	TEAM LEYJUN	ローラB99/51	-	-	-	-	-	-	(R)	(8)	(15)	(14)	0	0
68	R.デルブラー	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ローラB99/51	(R)	(11)	(9)	(17)	(12)	(14)	(R)	(NS)	(R)	(15)	0	0
5	脇阪 薫一	TEAM SZIGEN	レイナード99L	(R)	(9)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 RACING TEAM	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	-	(14)	(19)	(14)	(R)	(R)	(10)	(R)	(17)	0	0
32	近藤 真彦	MIRAI	ローラB99/51	(R)	(13)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード99L	(R)	(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2014 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2000

TEAM

DRIVER

2000 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	113	6	Team Morinaga NOVA	9
2	TEAM SZIGEN	45	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	9
3	TEAM IMPUL	34	8	TEAM LEYJUN	5
4	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	27	9	MOONCRAFT	2
5	Team LeMans	16			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2000 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/26	Rd.02 もてぎ 4/16	Rd.03 MINE 5/21	Rd.04 富士 6/4	Rd.05 鈴鹿SP 7/2	Rd.06 SUGO 7/30	Rd.07 もてぎ 8/20	Rd.08 富士 9/3	Rd.09 MINE 9/17	Rd.10 鈴鹿 11/5	Total
1	0	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	10	10	(R)	10	10	10	10	10	10	6	86
2	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L	6	6	6	(NS)	4	2	6	2	(R)	3	35
3	19	本山 哲	TEAM IMPUL	レイナード99L	1	3	(R)	(8)	1	3	4	6	6	10	34
4	2	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	(12)	4	10	(16)	2	(11)	3	(R)	4	4	27
5	7	野田 英樹	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(10)	4	(15)	6	(R)	2	1	(17)	2	15
6	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	3	1	2	4	(R)	4	(11)	(R)	—	—	14
7	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(11)	2	3	6	(8)	(R)	(9)	(R)	1	1	13
8	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	4	(7)	1	2	3	(R)	(7)	(8)	(8)	(9)	10
9	9	R.ファーマン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)	(11)	(R)	1	(7)	6	(10)	(13)	2	(R)	9
10	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(8)	(R)	(R)	3	(R)	(R)	(R)	3	3	(12)	9
11	62	柴原 真介	TEAM LEYJUN	レイナード2KL	(9)	(12)	(9)	(7)	(9)	1	(R)	4	(13)	(14)	5
12	14	脇阪 薫一	MOONCRAFT	レイナード99L	2	(8)	(R)	(R)	(R)	(8)	(13)	(9)	(R)	(8)	2
13	8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(15)	(R)	(12)	(12)	(R)	1	(10)	(16)	(R)	1
10	10	山西 康司	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)	(9)	(7)	(11)	(14)	(R)	(R)	(R)	(7)	(7)	0
3	3	近藤 真彦	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	(14)	(R)	(13)	(13)	(7)	(R)	(R)	(11)	(10)	0
68	道 上 龍	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(13)	(R)	(R)	(10)	(R)	(8)	(7)	(9)	(R)	(R)	0
12	J.ヴェルチューク	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(13)	(R)	(8)	(R)	(R)	(R)	(12)	(11)	(12)	(11)	(11)	0
21	A.ユーン	TEAM MALAYSIA	レイナード99L	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(9)	(R)	(12)	(R)	(R)	(R)	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 RACING TEAM	レイナード99L	(R)	(R)	(10)	(10)	(15)	(10)	(R)	(R)	(14)	(R)	(R)	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード99L GフォースGF03	(10)	(R)	(11)	(14)	(R)	—	(14)	(14)	(15)	(13)	(R)	0
4	土屋 武士	Olympic KONDO Racing Team	GフォースGF03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(10)	—	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2001

TEAM

DRIVER

2001 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM SZIGEN	53	6	MOONCRAFT	22
2	excite TEAM IMPUL	51	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	16
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	40	8	Team Morinaga NOVA	5
4	PIAA NAKAJIMA RACING	37	9	Team LeMans	2
5	Olympic KONDO Racing Team	34			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2001 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/25	Rd.02 もてぎ 4/22	Rd.03 MINE 5/20	Rd.04 富士 6/3	Rd.05 鈴鹿SP 7/1	Rd.06 SUGO 7/29	Rd.07 富士 9/2	Rd.08 MINE 9/23	Rd.09 もてぎ 10/21	Rd.10 鈴鹿 11/18	Total
1	19	本山 哲	excite TEAM IMPUL	レイナード01L	(R)	(9)	10	(R)	10	10	3	10	6	(R)	49
2	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	10	10	2	10	(8)	(7)	(12)	1	(18)	(10)	33
3	3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	レイナード01L	(13)	6	(11)	(R)	3	3	6	4	2	6	30
4	2	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	2	(R)	6	1	(R)	(R)	(7)	(8)	10	10	29
5	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	6	(10)	(12)	(14)	1	6	10	(失)	(16)	(R)	23
6	14	道上 龍	MOONCRAFT	レイナード01L	—	(R)	(10)	4	6	4	(R)	(R)	4	4	22
7	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L、01L	(R)	3	3	6	(R)	1	4	(R)	(7)	3	20
8	56	土屋 武士	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(10)	(11)	4	(R)	4	(R)	(14)	6	1	2	17
9	11	影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	3	2	1	2	(R)	(11)	1	3	(8)	(7)	12
10	1	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	(R)	4	(8)	(R)	2	2	(R)	(R)	(9)	(9)	8
11	10	A.クート	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03C レイナード99L	(R)	(R)	(R)	(12)	(R)	(R)	2	(R)	3	(14)	5
12	12	荒 聖治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	4	(R)	(R)	(R)	(9)	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	4
12	4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	1	(15)	3	(R)	(9)	(11)	(R)	(11)	(13)	4
14	7	山西 康司	Team LeMans	レイナード99L	—	—	—	—	—	—	(10)	2	(10)	(R)	2
14	20	N.カーテイヤン	excite TEAM IMPUL	レイナード99L	1	(7)	(9)	(R)	(R)	(13)	(9)	(R)	(14)	1	2
7	A.ユーン	Team LeMans	レイナード99L	(11)	(R)	(7)	(7)	(10)	(R)	—	—	—	—	—	0
8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(9)	(R)	(R)	(11)	(7)	(8)	(17)	(R)	(17)	(8)	(R)	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード2KL、99L	(15)	(NS)	(14)	(8)	(R)	(15)	(15)	(7)	(15)	(R)	(R)	0
9	R.ライアン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03	(8)	(8)	(R)	(9)	(11)	(12)	(R)	(R)	(13)	(12)	(R)	0
37	影山 正彦	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード99L	(12)	(R)	(R)	(10)	(NS)	(14)	(16)	(R)	(R)	(R)	(R)	0
68	野田 英樹	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(R)	(R)	(13)	(12)	(R)	(13)	(R)	(R)	(11)	(R)	0
69	J.ヴェルチューク	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	(14)	(R)	(13)	(NS)	—	—	—	—	—	—	—	0
69	光貞 秀俊	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	—	—	—	—	—	(13)	—	—	—	—	—	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、失=失格、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2014 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2002

DRIVER

TEAM

2002 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	81	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	6
2	XBOX TEAM IMPUL	60	7	Olympic KONDO Racing Team	3
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	44	8	FORWARD NOVA	2
4	TEAM 5ZIGEN	34	9	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	1
5	Team LeMans	29			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2002 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/24	Rd.02 富士 4/7	Rd.03 MINE 5/19	Rd.04 鈴鹿(東SP) 7/7	Rd.05 もてぎ 7/21	Rd.06 SUGO 8/4	Rd.07 富士 9/1	Rd.08 MINE 9/22	Rd.09 もてぎ 10/20	Rd.10 鈴鹿 11/3	Total
1	31	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	10	6	(R)	10	(9)	10	6	6	10	4	62
2	1	本山 哲	XBOX TEAM IMPUL	(R)	10	10	2	10	(R)	4	10	4	10	60
3	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	2	4	(R)	4	4	(R)	10	(8)	6	3	33
4	8	土屋 武士	Team LeMans	6	1	4	(NS)	6	3	(R)	(7)	1	6	27
5	32	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	4	(10)	6	(R)	(13)	2	(R)	3	3	1	19
6	6	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	3	(NS)	-	-	3	4	3	4	(12)	(11)	17
7	56	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	(R)	(R)	3	1	2	1	2	2	(R)	(7)	11
8	5	服部 尚貴	TEAM 5ZIGEN	1	(R)	(R)	3	1	(12)	1	1	(8)	2	9
9	6	光貞 秀俊	TEAM 5ZIGEN	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	8
10	68	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	-	-	(7)	(8)	(11)	6	(7)	(R)	(7)	(R)	6
11	3	荒 聖治	Olympic KONDO Racing Team	(8)	3	(9)	(10)	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(10)	3
12	7	D.シュワガー	Team LeMans	-	-	(R)	(11)	(R)	(8)	(9)	(10)	2	(R)	2
12	10	黒澤 治樹	FORWARD NOVA	(9)	2	(R)	(14)	(12)	(10)	(12)	(R)	(R)	(12)	2
14	11	B.トレレイエ	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	(11)	(R)	1	(7)	(7)	-	-	-	-	-	1
2	M.クルム	XBOX TEAM IMPUL	(7)	(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
14	五十嵐 勇大	MOONCRAFT	(R)	(R)	(11)	(13)	(10)	(7)	(R)	(R)	(13)	(R)	(R)	0
22	伊藤 大輔	Team 22	(10)	(9)	(10)	(9)	(8)	(9)	(8)	(11)	(10)	(8)	(8)	0
4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	(12)	(R)	(8)	(12)	(R)	(11)	(10)	(12)	(14)	(9)	(9)	0
68	J.コシェ	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(13)	(8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(R)	(9)	(R)	(R)	0
9	山本 清大	ソノ・オン・デマンド NOVA	(15)	(11)	(12)	(R)	(R)	(R)	(13)	(NS)	(15)	(13)	(13)	0
7	影山 正美	Team LeMans	(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはレイナード99L~2KL~01L、エンジンは無限MF308を全車が使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2003

DRIVER

TEAM

2003 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM IMPUL	91	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	23
2	Forum eng. ARTA Team LeMans	38	7	TEAM 5ZIGEN	17
3	PIAA NAKAJIMA RACING	33	8	CARROZZERIA Team MOHN	1
4	TEAM 22	31			
5	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2003 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/23	Rd.02 富士 4/6	Rd.03 MINE 4/27	Rd.04 もてぎ 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/6	Rd.06 SUGO 7/27	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 MINE 9/21	Rd.09 もてぎ 10/19	Rd.10 鈴鹿 11/2	Total
1	19	本山 哲	TEAM IMPUL	10	10	10	(9)	(14)	10	6	(13)	6	4	56
2	20	B.トレレイエ	TEAM IMPUL	(R)	6	(R)	(R)	6	3	10	10	(9)	(R)	35
3	22	脇阪 寿一	TEAM 22	(R)	2	(R)	10	4	4	(R)	1	(R)	10	31
4	7	金石 年弘	Forum eng. ARTA Team LeMans	4	(8)	2	(7)	(R)	(8)	(R)	6	10	(R)	22
4	2	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	(7)	1	(R)	6	4	(9)	2	(R)	22
6	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(9)	(R)	(R)	4	10	2	(R)	(R)	4	(9)	20
7	12	井出 有治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(7)	4	6	(7)	(10)	(R)	4	(12)	2	19
8	8	土屋 武士	Forum eng. ARTA Team LeMans	(R)	(R)	6	3	2	(7)	1	(12)	1	3	16
9	5	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	(R)	4	3	2	3	(R)	(R)	(R)	(13)	1	13
10	1	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(12)	1	(R)	(R)	1	(R)	(R)	(14)	3	6	11
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	2	(9)	(R)	(R)	(15)	1	2	2	(14)	(R)	7
12	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	(R)	(R)	(11)	(8)	(9)	(9)	3	(7)	(11)	3
12	6	J.コートニー	TEAM 5ZIGEN	-	-	-	-	-	-	3	(7)	(R)	(R)	3
14	28	野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	1	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	(R)	(10)	(R)	(10)	1
14	6	福田 良	TEAM 5ZIGEN	(7)	(R)	1	(R)	(13)	-	-	-	-	-	1
4	D.シュワガー	Olympic KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(9)	(11)	(7)	(8)	(10)	(8)	0
10	加藤 寛規	OIZUMI TEAM NOVA	-	-	-	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(7)	0
3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	(10)	(12)	(10)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(R)	(R)	0
10	五十嵐 勇大	TEAM NOVA	-	-	-	-	(10)	(12)	(8)	-	-	-	-	0
9	黒澤 治樹	PLANEX EBBRO NOVA	(R)	(R)	(9)	(10)	(11)	(R)	(R)	(11)	(R)	(12)	(12)	0
10	藤澤 哲也	カッチャオ TCPRO NOVA	(11)	(11)	(R)	(12)	-	-	-	-	-	-	-	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車無限MF308を使用。

1996-2014 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2004

DRIVER

TEAM

2004 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	62	6	Yellow Hat KONDO Racing Team	10
2	PIAA NAKAJIMA RACING	50	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	7
3	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	40			
4	Team LeMans/Team LeMans Spirit	37			
5	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2004 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/28	Rd.02 SUGO 5/2	Rd.03 もてぎ 6/6	Rd.04 鈴鹿 7/4	Rd.05 SUGO 8/1	Rd.06 MINE 8/29	Rd.07 セブン 9/19	Rd.08 もてぎ 10/24	Rd.09 鈴鹿 11/7	Total
1	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	10	(8)	10	3	(8)	(9)	6	4	33
2	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	10	(8)	(R)	(R)	10	4	(7)	33
3	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	(12)	6	6	4	(7)	(7)	(10)	10	6	32
4	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	(R)	1	3	6	(10)	10	(7)	(R)	10	30
5	7	鶴坂 寿一	Team LeMans	(13)	4	(R)	2	4	6	4	(R)	3	23
6	1	本山 哲	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	2	(12)	2	3	10	1	(R)	2	1	21
7	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	10	(9)	(9)	(7)	6	(R)	1	(9)	(8)	17
8	25	片岡 龍也	Team LeMans Spirit	(10)	(11)	4	(13)	(R)	3	2	3	(12)	12
9	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(7)	(7)	(R)	(10)	1	(10)	6	(R)	(10)	7
10	3	道上 龍	Yellow Hat KONDO Racing Team	4	2	1	(R)	(R)	(11)	(8)	(10)	(13)	7
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(R)	(12)	(9)	(失)	(12)	3	1	(R)	7
12	2	金石 年弘	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	1	(13)	(10)	(R)	(12)	4	(R)	(R)	(11)	5
13	8	土屋 武士	Team LeMans	(11)	(10)	(7)	(11)	(8)	2	(R)	(R)	2	4
14	4	立川 祐路	Yellow Hat KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	1	2	(9)	(R)	(7)	(9)	3
28		野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(9)	(8)	(11)	(R)	(11)	(R)	(R)	(11)	(14)	0
27		山西 康司	CARROZZERIA Team MOHN	—	—	—	(12)	(9)	—	—	(8)	—	0
12		影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	—	—	—	—	—	(R)	(11)	(R)	(15)	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●太字はポールポジション ●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

2005

DRIVER

TEAM

2005 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast IMPUL/arting IMPUL	101	6	TEAM 5ZIGEN	14
2	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	37	7	TEAM CERUMO	2
3	PIAA NAKAJIMA RACING	35			
4	KONDO Racing Team	21			
5	Forum Engineering Team LeMans	20			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2005 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 もてぎ 4/3	Rd.02 鈴鹿 4/17	Rd.03 SUGO 5/15	Rd.04 富士 6/5	Rd.05 鈴鹿 7/3	Rd.06 MINE 7/31	Rd.07 富士 8/28	Rd.08 もてぎ 10/23	Rd.09 鈴鹿 11/27	Total
1	23	本山 哲	arting RACING TEAM with IMPUL	3	3	10	6	10	4	(13)	10	6	52
2	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	6	10	2	(7)	(8)	10	4	3	4	39
3	1	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	10	2	6	3	4	(R)	3	(13)	2	30
4	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	(11)	(R)	(9)	(R)	(R)	(10)	10	(R)	10	20
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(R)	4	4	(8)	6	(R)	(11)	(9)	1	15
6	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	1	(9)	(R)	10	(R)	(失)	(12)	(11)	3	14
7	5	松田 次生	TEAM 5ZIGEN	(10)	6	(R)	4	1	3	(9)	(10)	(8)	14
8	8	土屋 武士	Forum Engineering Team LeMans	2	(R)	3	(R)	(R)	2	2	4	(R)	13
9	4	R.クインレルリ	KONDO Racing Team	—	—	—	2	2	6	(R)	2	(10)	12
10	3	山本 左近	KONDO Racing Team	(14)	(R)	(R)	(R)	3	(8)	(R)	6	(11)	9
11	7	片岡 龍也	Forum Engineering Team LeMans	(7)	(8)	(8)	(R)	(R)	(7)	6	1	(7)	7
12	2	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	4	1	1	(10)	(7)	1	(7)	(7)	(14)	7
13	11	平中 克幸	TEAM CERUMO	(8)	(R)	(R)	1	(R)	(R)	1	(12)	(9)	2
4		J.ヤニス	KONDO Racing Team	(12)	(7)	(7)	—	—	—	—	—	—	0
12		高木 虎之介	TAKAGI PLANNING with CERUMO	(9)	(R)	(11)	(9)	(10)	(9)	(8)	(R)	(12)	0
28		野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(R)	(R)	(10)	(R)	(9)	(R)	(10)	(8)	(13)	0
27		加藤 正将	CARROZZERIA Team MOHN	(13)	—	—	—	—	—	—	—	—	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

1996-2014 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2006

DRIVER

TEAM

2006 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	88	6	Team LeMans	13
2	DHG TOM'S RACING	32	7	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	12
3	PIAA NAKAJIMA RACING	26	8	TEAM CERUMO	10
4	arting RACING TEAM with IMPUL	16	9	Team BOSS INGING Formula Nippon	6
5	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	13.5	10	KONDO RACING	4.5

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2006 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/2	Rd.02 鈴鹿 4/16	Rd.03 もてぎ 5/28	Rd.04 鈴鹿 7/9	Rd.05 オートポリス 8/6	Rd.06 富士 8/27	Rd.07 SUGO 9/17	Rd.08 もてぎ 10/22	Rd.09 鈴鹿 11/19	Total
1	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	5	4	6	10	(7)	10	6	10	(R)	51
2	20	松田 次生	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	3	(9)	2	6	10	(7)	4	6	6	37
3	36	A.ロッテラー	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(8)	2	10	2	(8)	6	(R)	(R)	10	30
4	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	(11)	10	1	(R)	(18)	(9)	10	3	1	25
5	1	本山 哲	arting RACING TEAM with IMPUL	トヨタRV8J	2	(8)	4	4	(R)	4	2	(R)	(R)	16
6	40	B.ビルドハイム	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	1.5	6	3	(R)	1	1	1	(11)	(9)	13.5
7	7	片岡 龍也	Team LeMans	トヨタRV8J	(13)	(7)	(R)	1	4	(R)	(9)	4	4	13
8	11	立川 祐路	TEAM CERUMO	トヨタRV8J	(12)	(R)	(10)	3	3	2	(7)	2	(R)	10
9	55	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(16)	(R)	(R)	(R)	6	3	(R)	(R)	(7)	9
10	33	R.クイントレリ	Team BOSS INGING Formula Nippon	トヨタRV8J	1	(R)	(R)	(R)	2	(10)	3	(9)	(12)	6
11	3	山本 左近	KONDO RACING	トヨタRV8J	0.5	3	(14)	—	—	—	—	—	—	3.5
12	56	小暮 卓史	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(10)	(17)	(R)	(9)	(19)	(NS)	(失)	(R)	3	3
13	37	土屋 武士	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(9)	(10)	(R)	(7)	(9)	(R)	(8)	(8)	2	2
14	32	武藤 英紀	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	(19)	1	(8)	(R)	(17)	(16)	(10)	(10)	(R)	1
14	4	柳田 真孝	KONDO RACING	トヨタRV8J	(7)	(R)	(9)	(13)	(13)	(12)	(R)	1	(13)	1
5	道土 龍	TEAM RECKLESS 5ZIGEN	ホンダHF386E	(20)	(18)	(7)	(R)	(11)	(15)	(12)	(R)	(11)	0	0
34	横溝 直輝	Team BOSS INGING Formula Nippon	トヨタRV8J	(14)	(13)	(R)	(11)	(R)	(R)	(11)	(11)	(7)	(R)	0
8	高木 虎之介	Team LeMans	トヨタRV8J	(22)	(16)	(11)	(8)	(16)	(8)	(R)	(R)	(R)	0	0
6	J.P.デ・オリベラ	TEAM 5ZIGEN	ホンダHF386E	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(8)	0
3	荒 聖治	KONDO RACING	トヨタRV8J	—	—	—	(10)	(10)	(18)	(13)	(R)	(R)	0	0
41	井出 有治	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	—	—	—	(12)	(12)	(11)	(R)	(R)	(10)	0	0
41,17	平中 克幸	DoCoMo TEAM DANDELION RACING EMS Racing	ホンダHF386E	(17)	(11)	(R)	—	(15)	(14)	(R)	(R)	(R)	0	0
6	折目 遼	M&O with TEAM 5ZIGEN	ホンダHF386E	(21)	(15)	(12)	(R)	(R)	(17)	(失)	(12)	—	0	0
27	密山 祥吾	DPR Direxiv	ホンダHF386E	(15)	(12)	(13)	(R)	—	—	—	—	—	0	0
2	星野 一樹	arting RACING TEAM with IMPUL	トヨタRV8J	(18)	(14)	(R)	(R)	(14)	(13)	(R)	(R)	(14)	0	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、失=失格、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●第1戦富士は雨によるレース途中中止のため、規定により通常得点の半分。●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのアンメイコ。

2007

DRIVER

TEAM

2007 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	91	7	CARCHS KONDO RACING	18
2	PIAA NAKAJIMA RACING	72	8	Forum Engineering Team LeMans	8
3	Arabian Oasis TEAM IMPUL	50	9	TEAM CERUMO	7
4	DHG TOM'S RACING	48	10	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	6
5	INGING MOTORSPORT	27	11	TEAM RECKLESS CERUMO	4
6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	20			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2007 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/1	Rd.02 鈴鹿 4/15	Rd.03 もてぎ 5/20	Rd.04 岡山 6/10	Rd.05 鈴鹿 7/8	Rd.06 富士 8/26	Rd.07 SUGO 9/16	Rd.08 もてぎ 10/21	Rd.09 鈴鹿 11/18	Total
1	2	松田 次生	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	8	8	6	6	5	(13)	4	4	5	46
2	1	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	10	(R)	5	8	(R)	8	8	6	(R)	45
3	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	1	6	10	4	(17)	(R)	10	10	(失)	41
4	19	本山 哲	Arabian Oasis TEAM IMPUL	トヨタRV8J	(R)	10	3	(10)	10	(R)	5	(11)	10	38
5	36	A.ロッテラー	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(R)	4	8	(R)	(13)	10	2	5	8	37
6	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	6	5	(R)	(19)	(11)	6	6	8	(R)	31
7	33	R.クイントレリ	INGING MOTORSPORT	トヨタRV8J	4	3	4	10	(R)	2	1	3	(14)	27
8	4	J.P.デ・オリベラ	CARCHS KONDO RACING	トヨタRV8J	(失)	(14)	1	5	2	3	(R)	1	6	18
9	40	B.ビルドハイム	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	5	(13)	(11)	(11)	8	1	(R)	2	1	17
10	20	M.クルム	Arabian Oasis TEAM IMPUL	トヨタRV8J	3	2	2	1	4	(R)	(R)	(15)	(R)	12
11	37	荒 聖治	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(11)	(R)	(15)	2	(10)	5	(R)	(13)	4	11
12	11	立川 祐路	TEAM RECKLESS CERUMO	トヨタRV8J	(16)	1	(12)	3	(12)	4	3	(9)	(13)	11
13	55	井出 有治	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(14)	(10)	(16)	(R)	6	(16)	(R)	(R)	(10)	6
14	7	片岡 龍也	Forum Engineering Team LeMans	トヨタRV8J	2	(R)	(R)	(9)	(R)	(R)	(R)	(10)	3	5
15	41	F.カルボーン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	(15)	(15)	(R)	(13)	3	(15)	(9)	(18)	(R)	3
16	8	高木 虎之介	Forum Engineering Team LeMans	トヨタRV8J	(R)	(12)	(9)	(16)	1	(9)	(10)	(12)	2	3
34	横溝 直輝	INGING MOTORSPORT	トヨタRV8J	(10)	(9)	(13)	(12)	(19)	(10)	(13)	(R)	(12)	0	0
56	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(12)	(17)	(10)	(R)	(9)	(11)	(R)	(14)	(R)	0	0
3	柳田 真孝	CARCHS KONDO RACING	トヨタRV8J	(9)	(18)	(R)	(15)	(14)	(12)	(12)	(16)	(R)	0	0
5	平中 克幸	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(R)	(11)	(17)	(14)	(18)	(14)	(11)	(17)	(11)	0	0
6	吉本 大樹	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(13)	(19)	(18)	(17)	(15)	(17)	(R)	(R)	(15)	0	0
12	佐々木 孝太	TEAM RECKLESS CERUMO	トヨタRV8J	(17)	(16)	(14)	(18)	(16)	—	—	—	—	0	0
27	T.カナーン	KANAAN RACING	ホンダHF386E	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(6)	—

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。●第9戦鈴鹿のNo.27 T.カナーンは特別参加のためポイント対象外。
●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのアンメイコ。

2014 SUPER FORMULA RACE RESULT

2008

TEAM

DRIVER

2008 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	LAWSON TEAM IMPUL	114.5	7	Team LeMans	22
2	PIAA NAKAJIMA RACING	103	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	21
3	PETRONAS TEAM TOM'S	58	9	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	11
4	CERUMO/INGING	52.5	10	SG team 5ZIGEN	9
5	KONDO RACING	44	11	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	7.5
6	TP Checker TEAM IMPUL	42			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2008 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/6	Rd.02 鈴鹿 5/11	Rd.03 もてぎ 5/25	Rd.04 岡山 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/13	Rd.06 もてぎ 8/10	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 SUGO 9/21	Total			
1	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	16	16	16	1(R)	11	(8)	9	4	5	0.5	15	93.5
2	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	1	1	10	15	3	4	10	(R)	8	(7)	10	62
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	10	12	12	8	2	(11)	(7)	4	1	(12)	49
4	20	平手 晃平	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	(R)	12	5	10	4	5	(R)	(NS)	—	—	6	42
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	5	6	(R)	2	6	(7)	4	(R)	6	(6)	12	41
6	4	J.P.オベラ	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	(R)	2	(11)	5	1	6	3	11	(8)	5	33
7	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	12	(17)	4	8	(17)	(12)	5	2	(9)	(9)	(15)	31
8	2	B.トレレイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	8	4	(R)	3	(R)	(13)	(15)	(R)	2	2	8	27
9	47	R.クインタレリ	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	6	3	(R)	4	(10)	(9)	(R)	(13)	3	1.5	4	21.5
10	56	伊沢 拓也	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(R)	2	8	6	(12)	(R)	(R)	(12)	(18)	(17)	3	19
11	7	本山 哲	Team LeMans	トヨタRV8J	(R)	8	(16)	(R)	1	3	(9)	1	(14)	(14)	1(R)	14
12	3	横溝 直輝	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	5	(11)	5	2	(6)	(R)	(11)	(12)	(12)	(R)	12
13	67	R.ストレイト	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	トヨタRV8J	10	(15)	(R)	(R)	(11)	(10)	(R)	(9)	(19)	(18)	1	11
14	5	金石 年弘	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(11)	(R)	6	(14)	(R)	(14)	3	(R)	(16)	(20)	(11)	9
15	37	荒 聖治	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	(11)	1	1	(13)	(11)	2	5	(10)	(10)	(16)	9
16	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8J	4	(13)	3	(R)	(14)	(R)	(13)	(8)	(17)	(16)	2	9
17	41	土屋 武士	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	3	(14)	(14)	(12)	(16)	(R)	1	(14)	(11)	(11)	(14)	4
18	40	松浦 孝亮	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	(12)	(16)	(12)	(13)	(9)	(R)	(10)	(6)	1	2.5	(13)	3.5
19	55	井出 有治	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	2	(18)	(15)	(R)	(15)	(R)	(12)	(R)	(R)	(19)	(17)	2
6		吉本 大樹	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	—	—	—	—	(18)	(15)	(14)	(10)	—	—	—	0
6		平中 克幸	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(R)	(12)	(13)	(15)	—	—	—	—	(15)	(15)	(R)	0
20		R.ライアン	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	—	—	—	—	—	—	—	—	(13)	(13)	—	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~10位まで15-12-10-8-6-5-4-3-2-1点。予選ポールポジションにも1点。●1大会2レースの場合、第1レースの得点は1~8位に10-8-6-5-4-3-2-1点。第2レースは1~5位に5-4-3-2-1点。●1大会2レースの第2レースは、第1レースの結果でスタートグリッドが決まるため、ポールポジションの得点はなし。
●第7戦富士の第2レースは雨によるレース途中中止のため、規定により通常得点の半分。●マンはFNO6、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2009

TEAM

DRIVER

2009 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	NAKAJIMA RACING	93	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	25
2	PETRONAS TEAM TOM'S	52	7	HFDP RACING	20
3	LAWSON TEAM IMPUL	50	8	CERUMO/INGING	9
4	ahead TEAM IMPUL	31			
5	Team LeMans	31			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2009 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/5	Rd.02 鈴鹿 5/17	Rd.03 もてぎ 5/31	Rd.04 富士 6/28	Rd.05 鈴鹿 7/12	Rd.06 もてぎ 8/9	Rd.07 オートポリス 8/30	Rd.08 SUGO 9/27	Total
1	31	L.デュバル	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	5	10	(R)	11	11	8	6	11	62
2	2	B.トレレイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	10	9	8	(R)	6	6	1	(9)	40
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(10)	6	4	1	2	10	8	8	39
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	1	(R)	11	2	8	4	11	(10)	37
5	20	平手 晃平	ahead TEAM IMPUL	トヨタRV8K	7	5	(R)	4	4	1	5	6	32
6	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(11)	1	6	5	5	5	4	4	30
7	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR09E	3	4	5	3	(9)	(10)	(R)	5	20
8	41	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	8	2	(NS)	(R)	1	(9)	3	(11)	14
9	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	2	(R)	(R)	8	(10)	(11)	(9)	3	13
10	40	R.ライアン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	(R)	3	2	6	(13)	(R)	(10)	(13)	11
11	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(R)	(R)	3	(R)	(12)	4	2	2	11
12	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8K	4	(R)	(R)	(9)	3	2	(R)	(12)	9
13	7	国本 京佑	Team LeMans	トヨタRV8K	(9)	(9)	(NS)	(10)	(11)	(R)	(11)	1	1

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。●マンはFNO9、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2014 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2010

TEAM
DRIVER

2010 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	Mobil 1 TEAM IMPUL	68	6	HFDP RACING	9
2	PETRONAS TEAM TOM'S	66	7	KCMG	4
3	NAKAJIMA RACING	56.5	8	DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING	3
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	40.5	9	KONDO RACING	1
5	Team LeMans	24	10	MOTUL TEAM 無限	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

2010 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/18	Rd.02 もてぎ 5/23	Rd.03 富士 7/18	Rd.04 もてぎ 8/8	Rd.05 SUGO 9/26	Rd.06 オートポリス 10/17	Rd.07 鈴鹿 11/7	Total	
1	19	J.P.デ・オリベラ	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	11	6	3	(11)	8	2.5	9	47.5
2	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	6	8	(R)	6	10	3	4	43
3	1	L.デュバル	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	3	5	1(14)	10	9	(R)	9	2.5	39.5
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	11	3	4	9	4	(R)	4	3	38
5	20	平手 晃平	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	5	2	10	6	(12)	1	(9)	1.5	25.5
6	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(12)	1	5	4	10	1(R)	2	1	24
7	31	山本 尚貴	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	2	4	2	5	(R)	4	1.5	2	20.5
8	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(10)	(R)	3	1	5	6	1	(10)	16
9	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR10E	1	8	(11)	(10)	(R)	(失)	(10)	(12)	9
10	7	K.コッツォリーノ	Team LeMans	トヨタRV8K	(R)	(10)	1	(13)	2	5	(13)	(14)	8
11	2	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	4	(11)	(9)	(11)	3	(R)	(11)	(11)	7
12	18	平中 克幸	KCMG	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	2	(R)	2	(12)	(13)	4
13	29	井口 卓人	DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING	トヨタRV8K	(11)	(R)	(12)	(12)	(10)	3	(R)	(R)	3
14	3	松田 次生	KONDO RACING	トヨタRV8K	-	-	-	(R)	1	(R)	(14)	(9)	1
15	16	井出 有治	MOTUL TEAM 無限	ホンダHR10E	(9)	(9)	(10)	(9)	(9)	(R)	0.5	0.5	1

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのファンメイク。

2011

TEAM
DRIVER

2011 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	90	6	Project μ/cerumo-INGING	6.5
2	TEAM IMPUL	41	7	TEAM 無限	4
3	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	8	Team KYGNUS SUNOCO	3
4	Team LeMans	32	9	SGC by KCMG	2.5
5	NAKAJIMA RACING	18.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

2011 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 5/15	Rd.02 オートポリス 6/5	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 もてぎ 8/7	Rd.05 鈴鹿 9/4	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 もてぎ 11/6	Total	
1	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	-	10	8		10	9	9	56
2	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	10	6	6		6	4	4	42
3	1	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	6	11		(失)	(9)	3	28
4	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	2	7	4	5		5	3	0.5	26.5
5	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	4	8	(12)	1		4	(R)	2	19
6	8	石浦 宏明	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	1	(10)	3	2		8	1.5	1.5	17
7	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	8	(R)	2	(R)		2	2	2.5	16.5
8	2	平手 晃平	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(9)	1	8	4		1	1	(R)	15
9	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	5	3	(10)	3		(失)	(R)	(10)	11
10	33	国本 雄資	Project μ/cerumo-INGING	トヨタRV8K	(13)	(11)	(15)	(12)		4	2.5	(失)	6.5
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR10E	1(R)	4	(9)	(14)		(11)	(12)	(R)	5
12	18	A.インベトーリ	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(10)	2	(R)	(11)		(12)	0.5	(R)	2.5
13	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	(11)	(R)	1	(9)		(10)	(11)	1	2
	10	小林 崇志	HP REAL RACING	ホンダHR10E	(R)	(9)	(11)	(15)		(R)	(10)	(11)	0
	11	武藤 英紀	HP REAL RACING	ホンダHR10E	-	-	-	(10)		-	(R)	(9)	0
	3	A.カルダレリ	KONDO RACING	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	(13)		(9)	(R)	(R)	0
	62	嵯峨 宏紀	Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(12)	(R)	(14)	(16)		(13)	(13)	(R)	0
	36	井口 卓人	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	-	(12)	-	-		-	-	-	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●第5戦鈴鹿は悪天候のため中止。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのファンメイク。

1996-2014 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2012

TEAM
DRIVER

2012 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	78.5	6	Project μ/cerumo・INGING	10
2	PETRONAS TEAM TOM'S	76.5	7	NAKAJIMA RACING	4
3	TEAM IMPUL	51.5	8	TEAM 無限	4
4	Team KYGNUS SUNOCO	25	9	HP REAL RACING	2
5	Team LeMans	21.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

2012 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/15	Rd.02 もてぎ 5/13	Rd.03 オートボリス 5/27	Rd.04 富士 7/15	Rd.05 もてぎ 8/5	Rd.06 SUGO 9/23	Rd.07 鈴鹿 11/4	Total	
1	2	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	6	4	9	5	4	(12)	8	46
2	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	8	4	11	(9)	6	8	3	3	43
3	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	4	5	8	(13)	4	11	8	1.5	41.5
4	1	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	11	(R)	10	8	(10)	2	0.5	35.5
5	19	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	6	8	(R)	3	11	3	2.5	1 (R)	34.5
6	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	(9)	(11)	6	5	3	6	1	4	25
7	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	5	1	3	6	(R)	5	0.5	1	21.5
8	20	松田 次生	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	1	3	5	4	2	(R)	5	(R)	20
9	38	平手 晃平	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(10)	(R)	2	2	1	1	(9)	2	8
10	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(15)	(R)	(10)	(10)	(13)	(R)	1.5	2.5	4
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	2	2	(9)	(12)	(R)	(14)	(15)	(R)	4
12	10	金石 年弘	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(12)	(13)	(12)	(R)	(11)	2	(14)	(14)	2
13	39	国本 雄資	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(14)	(9)	1	1	(10)	(13)	(11)	(12)	2
	3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(11)	(12)	(13)	(16)	(9)	(11)	(13)	(9)	0
	15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	—	—	—	—	—	(9)	(17)	(10)	0
	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(10)	(11)	(11)	(12)	(12)	(10)	(11)	0
	62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(13)	(14)	(R)	(14)	(R)	(15)	(16)	(13)	0
	11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	—	—	—	(15)	(14)	—	—	—	0
	18	折目 遼	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(17)	(15)	(R)	(R)	(R)	(R)	(18)	(15)	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア。—は不出場。●太字はポールポジション。
●得点は各レース1~8位まで10・8・6・5・4・3・2・1点。ポールポジションにも1点。●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5・4・3・2・1.5・1・0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2013

TEAM
DRIVER

2013 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	58.5	6	NAKAJIMA RACING	21
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	42	7	DANDELION RACING	14
3	TEAM IMPUL	37.5	8	REAL RACING	4
4	MUGEN	32.5	9	KONDO RACING	3.5
5	INGING MOTORSPORT	21			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2013 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/14	Rd.02 オートボリス 6/2	Rd.03 富士 7/14	Rd.04 もてぎ 8/4	Rd.05 韓国 8/25	Rd.06 SUGO 9/29	Rd.07 鈴鹿 11/10	Total	
1	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	5	6	6	1		6	9	4	37
2	2	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	—	11	10	8		8	—	—	37
3	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	—	8	6	6		11	—	—	31
4	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	(12)	1	11		(R)	(R)	8	24
5	19	J.P.デ・オリベラ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	3	5		(R)	3	(17)	19
6	20	松田 次生	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	4	(16)	(13)		4	2.5	(16)	18.5
7	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	11	(R)	4	(R)		(R)	(10)	(9)	15
8	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	6	(R)	(14)	4		1	(R)	4	15
9	38	平手 晃平	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(12)	(R)	8	(15)		(R)	2	1	11
10	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(10)	(10)	2	3		5	(R)	(15)	10
11	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	1	2	(11)	2		(R)	1.5	2.5	9
12	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(R)	(10)	(10)		2	4	(11)	6
13	8	A.カルダレッリ	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	2	—	—	—		—	(R)	2	4
14	3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(14)	(9)	(12)	(R)		3	0.5	(13)	3.5
15	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(9)	3	(9)	(9)		(R)	(R)	(R)	3
16	2	J.ロンター	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(11)	—	—	—		—	1	1.5	2.5
17	11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(18)	1	(R)	(11)		(R)	(11)	(12)	1
18	15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	(15)	—	—	—		(11)	(9)	0.5	0.5
	41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	(13)	(R)	(13)	(12)		(10)	(12)	(10)	0
	62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(17)	(11)	(R)	(16)		(9)	(14)	(14)	0
	18	R.ブラッドレー	KCMG	トヨタRV8K	(19)	(R)	(R)	(14)		(R)	(13)	(18)	0
	15	小林 崇志	TEAM 無限	ホンダHR12E	—	(R)	(15)	(R)		—	—	—	0

●数字は得点。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア。—は不出場。●太字はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10・8・6・5・4・3・2・1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5・4・3・2・1.5・1・0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF13、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2014 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2014

TEAM
DRIVER

2014 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	79.5	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	14
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	46	7	TEAM 無限	12.5
3	P.MU/CERUMO_INGING	45.5	8	HP REAL RACING	10
4	Lenovo TEAM IMPUL	39.5	9	NAKAJIMA RACING	4
5	KONDO RACING	22			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2014 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/13	Rd.02 富士 5/18	Rd.03 富士 7/13	Rd.04 もてぎ 8/24	Rd.05 オートボリス 9/14	Rd.06 SUGO 9/28	Rd.07 鈴鹿 11/9	Total		
1	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	3	4	3	10	2	3	8	4	9	46
2	19	J.P.デ・オバイテ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRI4A	2	6	4	(R)	11	6	(R)	8	2.5	39.5
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	5	2.5	6	3	—	10	(R)	4	4	34.5
4	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	10	3	2.5	—	5	(15)	6	(11)	3	29.5
5	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO_INGING	トヨタRI4A	6	(R)	(11)	5	8	1	3	2	1	26
6	3	J.ロンター	KONDO RACING	トヨタRI4A	8	1.5	(17)	1	1	4	5	1.5	(10)	22
7	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO_INGING	トヨタRI4A	(13)	2	1	6	(13)	8	(9)	2.5	(R)	19.5
8	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	5	(R)	0.5	8	(10)	(13)	1	(16)	2	16.5
9	1	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	(11)	(R)	2	4	(15)	3	3	1	1.5	14.5
10	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(9)	(R)	(15)	(12)	(9)	(9)	10	(12)	(9)	10
11	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR-414E	(14)	(NS)	(9)	(R)	3	5	(R)	0.5	(13)	8.5
12	36*	A.カルダレリ	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	—	—	—	1(R)	6	—	—	—	—	7
13	20	N.カーティケヤン	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(R)	1	1.5	2	(R)	(17)	(11)	(10)	0.5	5
14	41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(10)	(10)	(12)	(11)	4	(10)	(12)	(13)	(12)	4
15	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	(9)	(14)	(9)	(16)	(12)	4	(9)	(15)	4
16	11	V.リウツィ	HP REAL RACING	ホンダHR-414E	1	0.5	(10)	(R)	(14)	(R)	(R)	(15)	(11)	1.5
	34	伊沢 拓也	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	—	—	—	—	—	(R)	(14)	(14)	0	
	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	(R)	(NS)	(R)	(11)	(R)	(10)	(R)	(16)	0
	2	中山 友貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	(12)	(12)	(18)	(13)	(12)	(14)	(14)	(R)	(17)	0
	18	中山 雄一	KCMG	トヨタRI4A	(R)	(13)	(16)	(10)	(R)	(16)	(13)	(R)	(18)	0
	62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRI4A	(R)	(11)	(13)	(R)	(17)	(11)	(R)	(R)	(19)	0

●数字は得点。 ●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。—は不出場。 ●赤字はポールポジション。 ●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。

●2レース制は、各レース1~8位まで7.5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。 ●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。 ●ヤンシはSF14、タイヤはアリヂストンのファンメイク。

*A.カルダレリはRd.3はNo.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMansで出場。

Formula Nippon/SUPER FORMULA

歴代チャンピオン

[ドライバー／チーム]



ドライバー
ペドロ・デ・ラ・ロサ(スペイン)
SHIONOGI TEAM NOVA

チーム
SHIONOGI TEAM NOVA
ペドロ・デ・ラ・ロサ/藤田章



1997



ドライバー
本山 哲(日本)
LEMONed Racing Team LeMans

チーム
LEMONed Racing Team LeMans
N.フォンタナ/本山 哲



1998



ドライバー
トム・コロネル(オランダ)
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム
PIAA NAKAJIMA RACING
トム・コロネル/光良秀俊



1999



ドライバー
高木 虎之介(日本)
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム
PIAA NAKAJIMA RACING
高木虎之介/松田次生



2000



ドライバー
本山 哲(日本)
excite TEAM IMPUL

チーム
TEAM 5ZIGEN
服部尚貴/ミハエル・クルム



2001



ドライバー
ラルフ・ファーマン(イギリス)
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム
PIAA NAKAJIMA RACING
ラルフ・ファーマン/松田次生



2002



ドライバー
本山 哲(日本)
TEAM IMPUL

チーム
TEAM IMPUL
本山哲/フワ・トレルイエ



2003



ドライバー
リチャード・ライアン(イギリス)
DoCoMo TEAM DANDELION RACING

チーム
mobilecast TEAM IMPUL
フワ・トレルイエ/井出哲治



2004



ドライバー
本山 哲(日本)
mobilecast IMPUL/arting IMPUL

チーム
mobilecast IMPUL/arting IMPUL
フワ・トレルイエ/井出哲治/本山哲



2005



ドライバー
フワ・トレルイエ(フランス)
mobilecast TEAM IMPUL

チーム
mobilecast TEAM IMPUL
フワ・トレルイエ/松田次生



2006



ドライバー
松田 次生(日本)
mobilecast TEAM IMPUL

チーム
mobilecast TEAM IMPUL
フワ・トレルイエ/松田次生



2007



ドライバー
松田 次生(日本)
LAWSON TEAM IMPUL

チーム
LAWSON TEAM IMPUL
松田次生/フワ・トレルイエ



2008



ドライバー
ロイック・デュバル(フランス)
NAKAJIMA RACING

チーム
NAKAJIMA RACING
ロイック・デュバル/小暮卓史



2009



ドライバー
ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ(ブラジル)
Mobil 1 TEAM IMPUL

チーム
Mobil 1 TEAM IMPUL
ジャン・バオロ・デ・オリベイラ/平手晃平



2010



ドライバー
アンドレ・ロッテラー(ドイツ)
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム
PETRONAS TEAM TOM'S
アンドレ・ロッテラー(井口卓人)/中嶋一貴



2011



ドライバー
中嶋 一貴(日本)
PETRONAS TEAM TOM'S



2012



ドライバー
山本 尚貴(日本)
TEAM 無敵



2013



ドライバー
中嶋 一貴(日本)
PETRONAS TEAM TOM'S



2014

Formula NIPPON 1996-2012 SUPER FORMULA 2013-2014

- ★シリーズ戦のみを対象とし、10～13年のJAF GP 富士スプリントカップの成績は含まない。
- ★FN時代のシリーズ戦の大会数は、96～03年＝各10大会、04～07年＝各9大会、08～09年＝各8大会、10～12年＝各7大会で、全153大会。
- ★SF時代のシリーズ戦の大会数は、13年、14年とも全7大会だが、13年第5戦韓国大会は開催予定時期の約1カ月前に中止となっているため、統計から完全に除外。よって13～14年のSFの総大会数は13。
- ★96～14年の計19シーズンにおけるシリーズ戦の総大会数は166とする。
- ★98年第7戦は決勝中止、11年第5戦は予選・決勝とも中止。
- ★08年第5～7戦と10～14年の各最終戦、14年第2戦が2レース制のため、決勝レースの実施総数は173(中止2戦含まず)。決勝出走等の統計に関しては、第1レースと第2レースをそれぞれ個別同等に扱う。
- ★08年第5～7戦の第2レースのグリッドは、第1レースの決勝結果による上位8台リバース制のため、「予選」としては取り扱わない(ポールポジションやポール・トゥ・ウイン、連続ポール等の統計対象とはしない)。10～14年最終戦と14年第2戦の予選に関しては、第1レース、第2レースを個別に統計対象とする。予選の実施総数は171(中止1戦含まず。決勝中止の98年第7戦の予選は統計に含む)。
- ★通常予選実施後にスペシャルステージ(SS: 上位、あるいは全車による単独アタック方式)を実施した場合は、SS1位がポールポジション。Q1～Q3ノックアウト方式の場合は、Q3の1位をポールポジションとするが、10～14年最終戦と14年第2戦ではQ1結果が第1レースの予選結果、Q3まで経た結果が第2レースの予選結果となっているため、それぞれ個別同等にポールポジションとして扱う。
- ★03年第5戦と04年第2、4、7戦は2ヒート制での実施(赤旗によるものではなく、あらかじめの2ヒート制)。いずれかのヒートに出走していれば「決勝出走」と判断する。ポールポジション、ポール・トゥ・ウイン等に関しては、予選セッションの1位を統計対象とする(第1ヒート＝実質的な予選レースの1位は統計対象としない)。ファステストラップは、原則として第2ヒート＝実質的な決勝レースを統計対象とする。
- ★06年第1戦と08年第7戦第2レースは実質的な競争状態を経ずに決勝レースが着したため、ファステストラップに関しては統計対象としない。なお06年第1戦に関してはポール・トゥ・ウインの対象とする(08年第7戦第2レースはリバースグリッドのため、ポール・トゥ・ウインの対象とはしない)。
- ★決勝失格者のファステストラップの有効性に関しては年代によって記録削除の方法等異なるが、ここでは原則無効とする。
- ★この記録を統計するにあたっては、JAF、JRP、プリヂストンの各サイトおよび、オートスポーツ誌、レーシングオン誌等を参考にした。解釈に関しての相違点等がそれぞれにあるため、必ずしもこれらの統計とは数字等が一致しない場合もある。

優勝回数

1	本山 哲	27回
2	A.ロッテラー	20回
3	L.デュバル	12回
4	高木虎之介	11回
	B.トレルイエ	11回
6	J.P.デ・オリベイラ	8回
7	R.ファーマン	7回
	松田次生	7回
	小暮卓史	7回
	中嶋一貴	7回
11	P.デ・ラ・ロサ	6回
12	服部尚貴	5回
	脇阪寿一	5回
14	R.ライアン	4回
15	R.シューマッハー	3回
	N.フォンタナ	3回
	影山正美	3回
	T.コロネル	3回
	井出有治	3回
	伊沢拓也	3回
21	金石勝智	2回
	影山正彦	2回
	光貞秀俊	2回
	平手晃平	2回
25	星野一義	1回
	黒澤琢弥	1回
	金石年弘	1回
	R.クインタレリ	1回
	荒 聖治	1回
	松浦孝亮	1回
	大嶋和也	1回
	塚越広大	1回
	山本尚貴	1回
	野尻智紀	1回

ドライバースチャンピオン獲得回数

1	本山 哲	4回(98、01、03、05年)
2	松田次生	2回(07、08年)
	中嶋一貴	2回(12、14年)
4	R.シューマッハー	1回(96年)
	P.デ・ラ・ロサ	1回(97年)
	T.コロネル	1回(99年)
	高木虎之介	1回(00年)
	R.ファーマン	1回(02年)
	R.ライアン	1回(04年)
	B.トレルイエ	1回(06年)
	L.デュバル	1回(09年)
	J.P.デ・オリベイラ	1回(10年)
	A.ロッテラー	1回(11年)
	山本尚貴	1回(13年)

インバル：本山 哲



◀19シーズンで14人の王者が生まれている。日本人5名、外国人9名だが、タイトル総数は日本勢10：来日勢9とほぼ互角。もちろんこれには、外国人勢にF1参戦等による卒業が多かった影響もあるだろう。最多4度を誇る本山には連覇がなく、07～08年の松田がFN～SFにおける現状唯一の連覇。最年少王者はシューマッハーで、戴冠時21歳4カ月弱。最年長での王座獲得は本山の4度目(05年)で、戴冠決定時(第8戦)34歳7カ月半だった。

インバル：本山 哲



決勝出走回数

1	本山 哲	125回
2	松田次生	116回
3	小暮卓史	102回
4	立川祐路	100回
5	A.ロッテラー	99回

▲上位5人。決勝出走というのは最も記録として曖昧な部分が多く、統計誤差が生じやすい部門であることをご承知おきいただきたい。赤旗再スタートに不参加の場合、最初のスタートに参加していれば「出走」と判断。また、フォーメーションラップ中や発進前のマシントラブル発生、スピン等による離脱に関しては、正式スタート後にコースインしていない限り「不出走」としている。それらを基準に可能な範囲の確認を行ない、上位5人を選定した。

インバル：本山 哲



▲34人が優勝者リストに名を刻んでいる。現状は7勝でトップ10、3勝でトップ20という位置づけになっている(なお星野、服部、黒澤、高木については全日本F3000での優勝経験があり、星野に関してはF3000以前のF2等でも優勝経験があるが、それらは統計に含まれていない)。

ポールポジション獲得回数

1	本山 哲	20回
2	小暮卓史	15回
3	高木虎之介	14回
4	松田次生	13回
5	脇阪寿一	9回
	J-P.デ・オリベイラ	9回
7	B.トレルイエ	8回
	L.デュバル	8回
	A.ロッテラー	8回
10	R.ライアン	7回
11	R.ファーマン	6回
12	土屋武士	5回
	山本尚貴	5回
14	P.デ・ラ・ロサ	4回
	T.コロネル	4回
16	服部尚貴	3回
	伊沢拓也	3回
	中嶋一貴	3回
19	M.クルム	2回
	R.シューマッハー	2回
	黒澤琢弥	2回
	影山正美	2回
	道上 龍	2回
	井出有治	2回
	大嶋和也	2回
	塚越広大	2回
27	鈴木利男	1回
	星野一義	1回
	金石勝智	1回
	N.フォンタナ	1回
	影山正彦	1回
	野田英樹	1回
	光貞秀俊	1回
	P.ダンブレック	1回
	金石年弘	1回
	平手晃平	1回
	A.カルダレリ	1回

インバル：本山 哲



▲37人がFN～SFで予選1位という栄誉に輝いている。統計対象は予選1位という意味でのポールポジションなので、03～04年の一部レース、2ヒート制の場合の第1ヒート1位はカウントされない（予選1位の方をカウント）。どちらかというと参戦年数が長い日本勢が上位を占める傾向にあるが、優勝回数はそうならないところが興味深いところ。つまり、本山以外の日本勢は、ポールの数ほど勝っていない傾向にある。



インバル：本山 哲

決勝ファステストラップ獲得回数

1	本山 哲	20回
2	J-P.デ・オリベイラ	13回
3	脇阪寿一	10回
	小暮卓史	10回
5	L.デュバル	9回
6	A.ロッテラー	8回
7	野田英樹	6回
	松田次生	6回
9	R.ライアン	5回
	B.トレルイエ	5回

▲上位10人（5回以上）。優勝よりもポールやファステストの数が多いう傾向の脇阪、小暮がチャンピオンにはなれず、3部門とも首位だが、なかでも優勝数が最も多い本山は4度王座に就いていることが象徴的ではある。レース後半に追い上げていくことが多い原則のファステストは、優勝数より多くならない方が理想的といえるのだろう。本山の記録傾向は見事な王者型。オリベイラは昨年（14年）、5レース連続を含む6回のファステスト獲得で一気に通算ランクを上げている。

ポール・トゥ・ウイン達成回数

1	本山 哲	10回
2	高木虎之介	8回
3	J-P.デ・オリベイラ	7回
4	小暮卓史	5回
	L.デュバル	5回
	A.ロッテラー	5回
7	P.デ・ラ・ロサ	4回
	B.トレルイエ	4回
	松田次生	4回
10	R.ファーマン	3回

▲上位10人（3回以上）。レース中の順位変動には関係なく、ポールポジション＝予選1位と優勝を同時に記録した、という解釈になる（第1ヒート＝予選レースの結果は無視）。高木はチャンピオンとなった00年にこれを5回も達成。97年のデ・ラ・ロサ、08年の松田も各4回と圧倒的な強さを誇った。なおトレルイエの4回には、実質無競争決着となった06年第1戦を含む。今季（15年）参戦選手では伊沢拓也と中嶋一貴が各2回、塚越広大と山本尚貴が各1回。



インバル：本山 哲



ナカジマ：高木虎之介

連続優勝

1	高木虎之介	6連勝（00年第4～9戦）
2	本山 哲	4連勝（02年第10戦～03年第3戦）
3	R.ファーマン	3連勝（01年第9戦～02年第1戦）
	松田次生	3連勝（08年第1～3戦）
	A.ロッテラー	3連勝（11年第6戦～第7戦第2レース）

▲3連勝以上。本山とファーマンの記録はシーズン跨ぎのもの。あまり連勝はできない接戦のシリーズだけに、ここでも00年の高木のケタ外れの強さが光る。

連続ポールポジション

1	松田次生	6回（08年第1～6戦）
2	R.ライアン	4回（04年第2～5戦）
	小暮卓史	4回（06年第5～8戦）
4	高木虎之介	3回（96年第4～6戦／00年第5～7戦）
	T.コロネル	3回（99年第6～8戦）
	本山 哲	3回（01年第2～4戦）
	脇阪寿一	3回（01年第6～8戦）
	土屋武士	3回（02年第6～8戦）
	小暮卓史	3回（07年第7～9戦）

▲予選1位という意味での連続ポール（リバースポールは除外して考える）。3連続以上を記載しているが、該当10例はいずれも同一シーズン内の記録。08年の松田は、あと2戦というところで全戦ポール達成を阻まれた。高木は3回連続を96年と00年に2度マークしている。



インバル：松田次生

MULA 12th JAF GR



インバル：ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ

PP+WIN+FL=ハットトリック達成回数

1	J-P.デ・オリベイラ	4回
2	L.デュバル	3回
3	高木虎之介	2回
	本山 哲	2回
	B.トレルイエ	2回

▲上位5人（複数回記録者）。ポール・トゥ・ウインに加えて決勝ファステストラップも記録した完全勝利である。全体として少ない印象だが、初期のフォーミュラ・ニッポンには決勝ファステストラップ樹立者に高級腕時計が贈呈されていた時期もあったため、上位圏外でもそれを狙いにいったドライバーがいたことも影響しているか？オリベイラは14年に2度達成して通算回数トップに躍り出ている。1回達成者は8人で、黒澤琢弥、P.デ・ラ・ロサ、影山正美、脇阪寿一、R.ファーマン、小暮卓史、松田次生、A.ロッテラー。

年少初優勝

1	R.シューマッハー	20歳10カ月12日(96年第2戦)
2	松田次生	20歳11カ月3日(00年第3戦)
3	N.フォンタナ	21歳4カ月6日(96年第3戦)
4	平手晃平	22歳3カ月19日(08年第5戦第2レース)
5	高木虎之介	22歳4カ月25日(96年第5戦)



チームマン：ラルフ・シューマッハー

▲各自の初優勝のみを対象とした5傑。シューマッハーと松田は実に僅差だった。高木は95年の全日本F3000でトップフォーミュラ初優勝を果たしており、当時21歳と6カ月弱。実質的には平手より上位になる。なお、日数の端数の数え方は、月毎の誕生日を基点にした決勝日までの日数で、決勝日を含むものとした(冊子「History of Formula NIPPON 1996-2012」の作成時は、決勝日を含まない「完全経過日数」で記載したため、1日ずつの違いが生じる。今回は、より一般的な記載法に準じて変更した)。

▼各自の最終優勝のみを対象とした5傑。36歳時に3勝、34歳時にチャンピオンを獲得している本山のすごさがあらためてクローズアップされる記録だ。3~5位の3名が35歳目前で、実に僅差だったことを考えても、30歳代後半でこのレースを勝つことがいかに至難であるかが分かる。そして星野一義の偉業には、最大限の敬意を払いたい(日数の端数については「年少初優勝」部門と同じ)。



インバル：星野一義

年長最終優勝

1	星野一義	48歳9カ月27日(96年第1戦)
2	本山 哲	36歳8カ月14日(07年第9戦)
3	黒澤琢弥	34歳11カ月25日(97年第3戦)
4	服部尚貴	34歳11カ月21日(01年第4戦)
5	影山正彦	34歳10カ月27日(98年第5戦)

チーム別優勝回数

1	インバル	54回
2	ナカジマ	42回
3	トムス	25回
4	チームルマン	16回
5	ダンディライアン	12回
6	ノバ	10回
7	スーパーアグリ~ARTA	5回
8	5ZIGEN	4回
9	TEAM22	2回
10	インギング	1回
	KONDO	1回
	無限	1回

▲「チーム」という定義付けは実に難しく、エントラント名と実質的なチーム母体が異なる場合をどうするか、などの問題がある。ARTAの一時期の勝利、およびTEAM22の全2勝は、チームルマンがメンテナンスを実行していた時期のものだが、それらはARTA、TEAM22の勝利としてカウントしている。03年の金石年弘(Forum eng. ARTA Team LeMans)の勝利はチームルマンとしてカウント。また、インギングの勝利はセルモとの合併以前のもの。インバルは96年から毎年1勝以上を継続していたが、13年に途切れた(17年連続でストップ)。06年からの参戦でありながらすでに25勝を挙げて歴代3位となっているトムスの躍進は特筆ものである。



インバルの星野一義監督(左)

チームタイトル獲得回数

1	インバル	7回(03, 04, 05, 06, 07, 08, 10年)
2	ナカジマ	4回(99, 00, 02, 09年)
3	トムス	3回(11, 13, 14年)
4	チームルマン	2回(96, 98年)
5	ノバ	1回(97年)
	5ZIGEN	1回(01年)
	ダンディライアン	1回(12年)

▲インバルは03~08年に6連覇を達成。19シーズン中、15シーズンがドライバー&チームの2冠達成というかたちになっている。

チーム別ドライバーズチャンピオン輩出回数

1	インバル	7回(01, 03, 05, 06, 07, 08, 10年)
2	ナカジマ	4回(99, 00, 02, 09年)
3	トムス	3回(11, 12, 14年)
4	チームルマン	2回(96, 98年)
5	ノバ	1回(97年)
	ダンディライアン	1回(04年)
	無限	1回(13年)

◀タイトルが「割れた」のは01年、04年、12年、13年の4シーズン。ダンディライアンは現状各1回のタイトル獲得がそれぞれ別の年だった。近4年はトムスが両タイトルを計3度ずつ獲得、一時代を築いている。

肖像権および知的所有権、著作物制作権について

SUPER FORMULA のエンタラントに帰属するすべての者（エンタラント代表、チーム監督、ドライバー、チームスタッフ、レースクイーンほか）はエンタラントの管理下に置かれ、SUPER FORMULA に参加することで発生する肖像権および知的所有権はすべてエンタラントに帰属します。但し、それらを用いて著作物を制作する、又は制作させる権利（著作物制作権）は全てその用途に関わらず全て株式会社日本レースプロモーション（JRP）に帰属します。詳しくは JRP までお問い合わせください。

SUPER FORMULAのロゴ使用について

SUPER FORMULA のロゴ使用に際しては、『SUPER FORMULA VISUAL IDENTITY Regulation (V.I. 規定)』を参照してください。SUPER FORMULA の各ロゴの使用権利はすべて JRP にあり、許可なくこれを使用することを禁止します。詳しくは JRP にお問い合わせください。

会社概要

会社名	株式会社日本レースプロモーション (JAPAN RACE PROMOTION INC.)
設立	1995 年
資本金	6000 万円
所在地	東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル
電話番号	03-3237-0131
FAX 番号	03-3237-0135
公式サイト	http://www.superformula.net/

主な事業内容：自動車競技会の運営に関する業務、自動車競技会のプロモーション、自動車競技会のスポンサー営業に関する業務、自動車競技会の PR に関する代理業務、自動車競技会／同映像のデータベース制作・管理・販売、モータースポーツに関連する調査、マーケティング業務、報道写真・ビデオ・フィルム等の制作、配信及び販売

沿革

1995 年	株式会社日本レースプロモーション設立。
1996 年	「全日本F3000 選手権シリーズ」に変わり、「全日本選手権フォーミュラ・ニッポン」シリーズがスタート。フジテレビによる地上波TV放送を開始。
1997 年	タイヤをブリヂストンのワンメイクとする。
1999 年	株フジテレビジョンが資本参加。
2003 年	ワンメイクシャシー“LOLA B351”を導入。
2006 年	シャシーを“FN06 (LOLA B06/51)”にスイッチ。本田技研工業(株)、トヨタ自動車(株)がV型8気筒3ℓの専用エンジン供給を開始。若手育成事業として“Formula Challenge Japan (FCJ)”の運営・プロモートを開始。
2008 年	車両にパドルシフトを採用。
2009 年	シャシーを“FN09 (SWIFT 017.n)”にスイッチ。エンジンをV型8気筒3.4ℓに変更すると同時に、オーバーテイクシステムを採用。
2010 年	第5戦富士スピードウェイ大会より、パワーステアリングを導入。地上波によるTV放送を休止し、J SPORTS による全戦生中継、BSフジによるダイジェスト放送を開始。
2011 年	ファミリー層を対象としたプロモーションイベント「Enjoy Kids」を、9月に宮城県名取市、11月に栃木県宇都宮市で開催。名取市でのイベントは東日本大震災からの復興を願って開催。 この年から出場全車両に「がんばろう! 日本 WE ARE ALL TOGETHER」のステッカーを貼付。
2012 年	4月、ハンドブック「良くわかるフォーミュラ・ニッポン」を刊行。 宇都宮市で開催のプロモーションイベント“Smile Kids” (Enjoy Kids を改名) から配布開始。 Smile Kidsはこの年、全4回開催。 6月のイベントではJリーグ 川崎フロンターレとコラボし、等々力陸上競技場にて、サッカースタジアムでは日本初のデモ走行を実施。 9月には仙台市内の3つの小学校を訪問。ドライバー、エンジニアを講師として特別授業を行う。 8月のツインリンクもてぎ大会において、シリーズ名称を2013年から「全日本選手権スーパーフォーミュラ」に変更することを発表。 “スーパーフォーミュラ”の名称は、ファンからの公募により採用。2013年最終戦鈴鹿サーキットにて新ロゴを発表。 9月、2014年よりシャシーを“SF14” (イタリア ダラーラに製作委託) に変更することを発表。 10月、SF14用のパワーユニットをターボ過給 直列4気筒2ℓダイレクトインジェクションエンジンとすることを発表。 エンジンの開発・供給は本田技研工業(株)とトヨタ自動車(株)が行う。
2013 年	名称を変更したことを受け、3月に「History of Formula Nippon 1996-2012」を刊行。 6月に、所期の目標を達成し、“Formula Challenge Japan (FCJ)” の運営・プロモートの休止を発表。